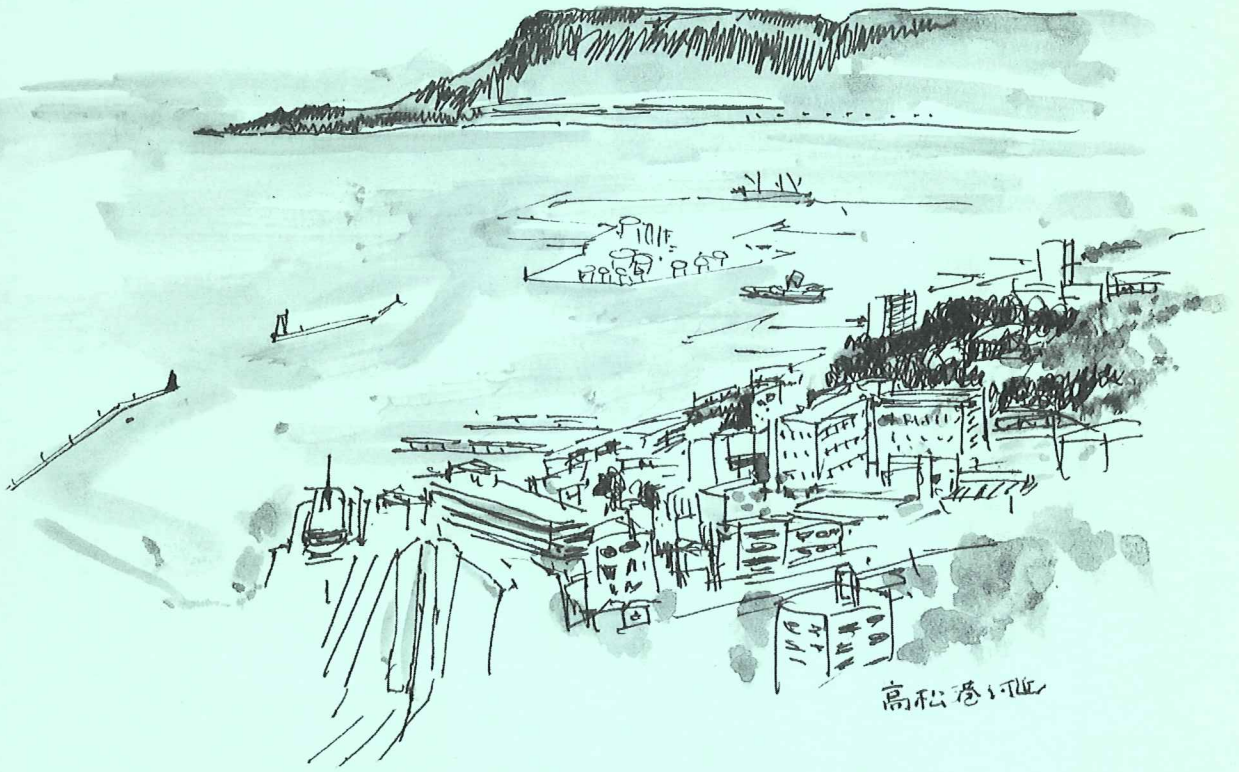


Tokyo Gyoku Sui Kai



4 th
1986. 7. 5
Akasaka Prince

目次

1. 第4回東京玉翠会式次第	1
2. 学校長あいさつ	2
3. 昭和60年度収支計算書、監査報告	3
4. 寄稿集	
(1) 東京玉翠会の先輩、友人の思い出	4
(高中 大正12年卒 村尾 薫)	
(2) 根津繁三郎先生と野球部の選手たち	7
(高中 昭和16年卒 藤井 勲)	
(3) 「囲碁と人生」物語	11
(4) 東京晩翠部会座談会	16
(5) 腹ペコ・焼跡から、遅ましく育った27年卒	20
(高中 昭和27年卒 久保 醇治)	
(6) 脈絡のない話	24
(高高 昭和29年卒 西村 秀俊)	
(7) 同級会報発行前後	27
(高高 昭和33年卒 井上 栄)	
(8) 南極雑記	28
(高高 昭和37年卒 上田 豊)	
(9) ふるさととは近くにあり	32
(高高 昭和37年卒 猪又 清之)	
5. 東京・讃岐マップ	37
6. 展示コーナー・作品の作者、著者紹介	41
7. 本年度総会幹事を担当して	43
8. 37年卒会員紹介	45
9. 寄贈図書目録	50
10. 歌詞(赤とんぼ、ふるさと、今日の日はさようなら)	51
11. 東京玉翠会会則	52
12. 役員名簿	55

香川県立高松中学校校歌

一、朝日輝く屋島山
 ささ波寄する玉藻浦
 平和みなぎるその響き
 精気あふるるその光
 我学舎に満ち満ちて
 いそしむ健児一千余

二、厳冬霜雪色変えぬ
 紫雲の松を名に負える
 我高中の健児らよ
 堅忍不とう功遂げて
 屋島山頭いや高く
 名譽の旗をひるがえせ



香川県立高松高等学校校歌

一、世紀新たな陽に映えて
 朝雲匂う屋島山
 おお眉清き若人が
 向学の念揺ぎなく
 潑刺拳る意気を見よ

二、平和輝く波寄せて
 鏡と澄める玉藻浦
 おお純潔の若人が
 真理の道を究めゆく
 独立自主の熱意見よ

三、仰ぐ紫雲の松風に
 雪持笹のさみどりに
 おお望みわく若人が
 自由と愛の血に燃ゆる
 我高の自治を見よ

香川県立高松高等女学校校歌

一、みれども飽かぬ 玉藻の浦
 千尋の底にしづくなる
 その白珠のうるはしき
 清き心をみがかむみがかむ少女われ

二、朝夕あふぐ 屋島の山
 峰の上はるかにならび立つ
 その山松の色かへぬ
 高き操を守らむ守らむ少女われ

三、開くる御代の幸おほき
 身にはつとめもさはなれば
 うら若き日をたゆみなく
 をみな業を習はむ習はむ少女われ

四、いや栄えゆく皇国の
 生ける効ある御民ぞと
 仁慈あまねき大君の
 詔勅かしこみつくさむつくさむ少女われ



第4回東京玉翠会式次第

と き 昭和61年7月5日(土)
午後5時～7時30分

ところ 赤坂プリンスホテル
クリスタルパレス

一、開 会 の 辞 司会 芝 草 克 久 (昭和37年卒)
関 口 玄 子 (")

一、東京玉翠会会長挨拶

一、議 事

1. 報 告 事 項

(1) 庶 務 報 告

(2) 会 計 報 告

(3) 監 査 報 告

一、来 賓 挨 拶

学校代表 高松高等学校長 田 中 清 春 先生

玉翠会 会 長 綾 田 整 治 氏

一、来 賓 の ご 紹 介

一、懇 親 会

一、閉 会 の 辞



ごあいさつ

高松高等学校
校長 田中清春

東京玉翠会総会が早くも第4回目を迎え、ますます盛大に開催されますことに心からおよろこびを申し上げます。

幸せにも私は、玉翠会発足以来4回皆勤でございますが、皆様方の同窓を絆とした常に変わらぬ母校に寄せる御厚情、本当に有難く、その幸せをかみしめているところでございます。

特に、これまで幹事をつとめられた方々、そして、本年度幹事の高高37年御卒業の方々の御尽力、御配慮に心から感謝申し上げ、御参会の皆様へのあたたかい御支援に厚くお礼を申し上げます。

ところで、本校では今後同窓会業務が多忙になることを考慮し、渉外部に昭和24年卒の宮西孝二先生を加えることになりましたのでよろしくお願いいたします。

御心配頂いております校舎改築問題につきましては、綾田会長様を陣頭に役員の方々ともども関係方面に請願陳情を重ね、やっと関係機関の御理解を得るところとなり、昨年12月末には地質調査を完了し、高松高校新体育館・武道場等として、次のような計画が立てられています。

1. 工期 昭和61年10月より、昭和62年12月まで
2. 工事費 5億3,000万円強
3. 床面積 約2,900㎡
4. 型 方形屋根 ピラミッド型のトップライト
5. 高さ 約 30m
6. 構造 鉄筋コンクリート造、2階建（一部3階）
7. 起工式 昭和61年10月中旬
8. 竣工 昭和62年12月末

この構想のもと、本年2月の県議会において、昭和61年度分として1,451㎡（鉄筋コンクリート造）の2億5千万円強の予算が議決されました。高高関係者待望の校舎全面改築の第1階梯ともいべき体育館が、現在地で62年末までに完成という、本校にとってまことに喜ばしいニュースをお知らせできることを本当にうれしく存じます。

それでは、お目にかかれる日を楽しみにして、御挨拶いたします。

昭和60年度収支計算書（案）

自 昭和60年4月1日
至 昭和61年3月31日

東京玉翠会
会長 平井 健 吉

<特別会計>

支出の部		収入の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
会場使用料	4,754,252	総会出席会費	3,922,000
会場運営費	809,700	男子 334人	
総会準備費	916,775	女子 264人	
母校寄付金	150,000	寄付金収入	387,811
		雑収入	2,110,359
		一般会計よりの受入金	210,557
合計	6,630,727	合計	6,630,727

<一般会計>

支出の部		収入の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
支部交付金	227,000	前期繰越金	3,904,118
会議費	74,040	年会費	549,000
通信費	26,270	預金利子	115,565
事務用品費	4,020		
特別会計への繰入金	210,557		
次期繰越金	4,026,796		
合計	4,568,683	合計	4,568,683

次期繰越金

内訳 (イ) 百十四銀行東京支店		
普通預金	No.125044	303,233円
通知預金		1,000,000
定期預金	満期61.4.19	1,578,049
定期預金	満期61.10.3	1,092,654
(ロ) 手持現金		52,860
		(4,026,796)

脚注 東京高中会並に晩翠会東京支部よりの受入基金1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支計算書について監査の結果、適正なることを認める。

昭和61年5月26日

監事 松田和光 ㊟
同 鷹尾律子 ㊟

東京玉翠会の先輩、友人の思い出

(高中大正12年卒) 村 尾 薫

戸沢民十郎氏。高中第3回卒(明治31年卒)。昭和の初め、私が東大の学生の頃、戸沢民十郎氏は衆議院議員であった。巣鴨に住む戸沢さんをとときどき夜に訪問し、大先輩の話聞くことが出来た。生意気ざかりの大学生の私が、東京に居ると遠い郷里のことには関心がないなどと偉そうなことを言うと、戸沢さん曰く、「君はそれでよいだろう。しかし僕は政治家で選挙区を持っているので、郷里のこと、郷里の人々の名前をよく覚えている。人の名前をよく覚える職業が三つある。一は政治家、二は新聞記者、三は警察官だ」。それから半世紀たった今日、戸沢代議士の言う人の名前をよく覚える、三つの職業、この言葉は忘れられない。至言であると思う。戸沢代議士を中心として東京小豆島会が大正時代に結成され、70年以上も経った今日まで続いている。今は小豆島に高校があるが、昔は小豆島から高中に学ぶ者が少なかった。

三木武吉氏。第8回(明治36年)。三木武吉氏が東京香川県人会に出席し、会場の椿山荘の思い出を語ったのが印象に残っている。「自分が早大生の頃、ここ(椿山荘)は山縣大将の邸宅であった。われわれ早大生は夕食後は、早稲田からここまで散歩に来て、山縣邸の門の前で蛮声を張り上げて校歌を高らかに歌った。そうする山縣家の家令が現れて、もうこの辺でお帰り下さいと挨拶する。一同は意気揚々と歌いながら早稲田へ帰ってゆく。こんなことをくりかえしていた。その山縣邸が今は椿山荘となっている。実は私は高中を卒業していないのだ。高中生として、いたずらが過ぎて、あばれたので退校処分になったのだが、後世に政治家となり有名になると、いつの間にか高中卒業生の名簿に自分の名が入っているのだ」との秘話も語った。

太田顕氏。第13回(明治41年)。90才を過ぎた太田氏は、健在で、先年高松から上京し、東京渋谷で医師として働いている。名簿を見ると菊池寛氏と同級生である。太田氏は東京玉翠会や讃岐公論の讃岐の会にも出席し、健康法に就て専門的な話をしゃべるほど元気である。

永井雅夫氏。大西禎夫氏。第21回(大正5年)。

永井雅夫氏は高中、三高、東大工学部卒の技術者で、炭研精工の社長、会長を経て現在相談役をしているかたわら技術士として先端技術のコンサルタントをしている。讃岐公論の会に出席すると、100才まで生きようと三ヶ塔会の中心人物であると元気のいいところを話している。

大西禎夫氏は琴電社長として活躍するかたわら衆議院議員に数回当選した。ずっと前に私が久しぶりで帰省したときに高松駅前の琴電本社に大西社長を訪問したところ、琴電瓦町駅に高層ビルを建ててデパートを入れたい。もう一つは近年全国的に電車を廃止してバスにするところが多いが、電車は発着時間が正確で通勤通学の人々に喜ばれている。永らく電車を走らせているので経営も堅実であるから、琴電は電車の運行を続けてゆくのだと云った。この第二の点は今も続けられているが、第一の瓦町駅にデパートを入れる高層ビル建築計画はまだ実現しない。早く実現するよう期待する。

大西禎夫氏は高中初期の野球選手で、全国中等学校野球大会四国予選で優勝し、第一回の全国大会に出場し投手として活躍した。まだ甲子園球場の出来る前のことで、鳴尾球場で行われたと思う。現在の琴電社長大西潤甫氏も高中卒業生である。大西元社長の考えた琴電瓦町高層ビルを早く作って高松の新名所としてもらいたいと期待する。

井上英熙氏。第22回(大正6年)。東京高中会は戦争末期から戦後にかけて中断されていて、その復興を計画する人もあったが実現せずにいたとき、日本セメント社長の井上氏が乗り出して準備会をたびたび開いた結果、東京・関東地区居住の高中卒業生800名ぐらいの調査がまとまり、同じく日本セメントに仕事の関係のある水原義雄氏が幹事長として井上氏を補佐し、私と高中同級生だった松山緑氏が当時、椿山荘を経営する藤田観光の副社長であった。そこで私は松山氏と相談して椿山荘を復活東京高中会の会場として井上さん、水原さんに推薦し賛成を得て、東京高中会は椿山荘で総会を催し、約500名出席し盛大であった。井上さんが会長、平井健吉氏と松原寛氏が副会長となり、卒業年次毎に幹事をおき、各学年毎に出席者を勧誘することとして組織固めは出来た。井上会長はその幹事会を日本セメント会議室でときどき開き、特にこうした同窓会の運営には会員から年会費1000円を集めて、事務費(主として名簿発行と通信費)に当てることとした。幹事会をする毎に今日現在の年会費はいくらあるか

と幹事長にたずね、100万円以上たまっているとの報告に安堵の様子であった。井上会長は約十年間、東京高中会の会長をつとめた。その間、高松の玉翠会会長諏訪亮平氏が毎年、東京の同窓会に出席し、そのうち高松では高中、高女、高松高校三者会共同で玉翠会が結成されており、東京でもその三者が合同して東京玉翠会になれとすすめていたが、井上会長は、三者合同すると数千名の会員数となり運営事務が大変だと云って賛成しなかった。

その後井上会長が辞任し、松原寛氏が東京高中会会長になってから、右の三者合併が結成され、平井健吉氏が会長となり、赤坂プリンスホテル・クリスタルパレスで催された昨年の総会は650名出席の盛会であった。

水原義雄氏。第27回（大正11年）。野球選手としての水原氏は高中、早大、満州クラブと学生野球、ノンプロ野球で大活躍した。高中時代は補手、投手をつとめ、当時は中等学校野球の創始期で、グラウンドとして整備されたものもなく、高中グラウンド（現高松工芸運動場）で四国大会が行われたこともあった。栗林公園北庭にグラウンドがあり、そこで四国大会か香川大会が催され、水原選手がライト後方紫雲山麓へホームランを打ちこんだのを見た。水原氏が早大に入った大正末期、永らく中絶していた早慶戦が復活し、水原氏は一塁手、三番打者として出場し、左打者で一回見事に先制点をあげ、復活早慶戦は早大が快勝した。水原氏は早大卒業後は大連で働き、満州クラブの選手としてノンプロ野球、都市対抗野球でも活躍した。後年日本セメントの仕事をして井上会長を補佐して東京高中会の復活に努力したことは前述の通りである。

野球と云えば、水原義雄氏の弟水原義明氏（第30回、大正14年）も高中時代は投手と強打者として活躍し、兄の後を追って早大に入り、早大野球部でも活躍したが後に戦死した。

プロ野球で活躍した三原脩氏は第34回（昭和4年）で、その同級生梶原英夫投手らと組んで明治神宮大会で優勝した。高中野球部の黄金時代であった。梶原氏は一高、東大でも投手と強打者として活躍した文武両達の秀才であったが惜しくも戦死した。

（讃岐公論社社主）

根津繁三郎先生と野球部の選手たち

（高中昭和16年卒）藤井 勲

昭和59年8月5日（日）16時「テレビ朝日」で高校野球スペシャル「青春甲子園60年の思い出を刻んでいま」という放送があった。

甲子園大会開幕を前にして、北海高校や広島商高等のOBで甲子園出場経験者が、その年母校が出場する喜びと昔の思い出を語っていた。

私はもし母校が出場することになっていたならば、50年ぶりだと話題になっていたかも知れぬと思いながらテレビに見入っていた。

そのうちに香川県代表で初出場の三本松高校が画面に登場、そして驚いたことに田淵知巳氏（昭和6年卒）が現われ、昭和3年夏の第14回大会の対松本商業の準決勝戦で、あの雨で敗れた悔しさを語られたのである。三本松高校の前身大川中学は、かつて高中の分校だったことがあり、高中OBの田淵氏が登場したのであろう。

10年ばかり前にも同じ「テレビ朝日」で三原脩氏（昭和4年卒）が当時の朝日新聞社社長広岡知男氏（市岡中学出身）と対談したことがあり「あの時は本当に悔しかったですね」と話しておられたことを思い出した。

田淵氏はつづけて「当時の野球部長が実に立派な先生で胸をはって堂々と歩けといわれたのです」と。

「あゝ青春の甲子園」という昭和53年発行の本の中で著者の好村三郎氏は「高松中は文武両道の名門校であった。……この対松本商の一戦は高校野球史の中で輝く一頁として残っている。……このときの高松中ナインの態度は実にさわやかであった。このフェアなマナーを持つ高中に対して、甲子園ファンはいつまでもそれを忘れない。それがいまも語りつがれているのはうれしい」と書いている。

この時の野球部長が根津繁三郎先生である。

根津先生は高中第5回（明治33年）のご卒業で、東京専門学校（早稲田大学の前身）英文科に入学、坪内逍遙に師事し、大学卒業後に一時海軍軍令部に勤め、「飛行機」という訳語を初めて作られた。

根津先生は温厚篤実、高邁なご人格の方で卒業生の間にも敬慕せられ、訪問客門前市をなしたといわれる。

昭和12年12月24日、根津先生は風邪がもとで急死せられた。12月29日、学校の講堂

で行われた追悼式で横田宗直校長は「多年本校野球部長としてよく同窓と協力、本校の黄金時代を現出し、わが高中を天下に謳^{うた}はしめ……」と弔辞を述べられた。

この追悼式には奥様と、お嬢様で当時高松高女三年生だった福子さんが出席された。

私はこの放送を聞くと直ぐ多摩市にお住まいの山元福子さんに電話してお知らせした。田淵氏のことはよく知っていた。山元さんは今でも高中野球部の人たちについて鮮明な記憶があり、みんなやさしい兄さんのようであったという。

私は、大正15年夏の甲子園に一塁手として出場した松本清先生（昭和3年卒）に「テレビ朝日」の放送のことや山元さんのことをお知らせした。松本先生は福子さんが健在であることを知られてびっくりされ、直ぐにはるばる高松から福子さんに電話され、40数年ぶりの電話でのなつかしい対談となったそうだ。

最近私は山元福子さんにお会いする機会に恵まれ、根津先生についていろいろおうかがいすることが出来たし、又先生のアルバムを見せていただいた。

下の写真は高中が雨で敗れたその年の秋の明治神宮大会で全国優勝した時の記念写真である。

この時の投手が梶原英夫氏で、後に一高、東大と進み学生選手の模範といわれた。



昭和3年秋の明治神宮大会で全国優勝した時の写真
前列左端の方が根津先生

このアルバムには福子さんが幼いころの洋服姿の写真があるが、その洋服は梶原氏が買って下さったものだそうだ。

成田知巳氏はこの優勝時野球部のマネージャーであった。前衆議院議員で現在日本最大の株式会社であるNTTの常任監査役をつとめる久保等氏（昭和9年卒）の夫人は福子さんの県女時代の同窓生だそうだが、福子さんは久保氏のあっせんで社会党委員長だった成田知巳氏と議員会館で面会したことがあった。成田委員長は「根津先生のお嬢さんですか」とそれはそれは懐かしがられたそうだ。

又このアルバムに何枚かの結婚写真が貼られてあったが、その中に水原義明氏のものもあった。水原義雄（大正11年卒、現在永信興業社長）、水原義明（大正14年卒）両兄弟は早大で強打者として鳴らした方だ。義明氏は東京六大学のリーグ戦で2回首位打者となった。義明氏は又三原脩氏の野球の師匠でもあった。

昭和9年夏の甲子園に出場した高中は「豆戦艦」と呼ばれた。この時の投手は三好善次氏、二塁手は脇信男氏、三塁手は樋笠一夫氏であった。昭和9年は高中最後の甲子園出場の年となった。当時四番丁小学校6年生だった福子さんは根津先生に連れられて甲子園へ応援に行った懐かしい思い出がある。三好氏は後に早大の名外野手として鳴らした。脇氏は現在高松市長、樋笠氏は巨人軍に入って活躍した。昭和31年3月25日、巨人対中日戦で代打に出て杉下投手から満塁ホームランを引っ飛ばし、然もこれが逆転サヨナラとなった。これは日本で初めての代打逆転満塁サヨナラホームランである。

三好善次氏は昭和11年5月早稲田時代アメリカに遠征した。この遠征については昭和11年11月発行の高中校友会誌「玉藻」第25号に「アメリカ野球遠征記」と題して詳しく報告している。三好氏はこの時アメリカ土産に万年筆を福子さんに買って来てくれたが、赤いその万年筆は最近まで愛用していたそうだ。

最後に余談ではあるが、松本清先生のご子息一路氏は昭和41年高松高校を卒業後早稲田大学に進み、NHKのスポーツアナウンサーになった。名前の一路（いちろ）は山本有三の熱烈なファンである母親（元四番丁小学校の熊野先生）が「真実一路」からとってつけたものである。一路氏はプロ野球に、高校野球に（昨年春の選抜大会の決勝戦のアナウンサー）、体操に、カヌーに、マラソンに、フィギュアスケATINGにと八面六臂の活躍をしている。ロスオリンピックにも派遣され、男子個人体操競技

で具志堅選手が逆転優勝して日本全国を興奮のつぼと化せしめた時に実況放送を担当したのであった。

又根津先生の令孫山元昭信氏はNHKのカメラマンとして活躍している。カメラ好きだった根津先生の血を引いているのだろう。今年4月から毎月第2日曜の夜放送されている「大黄河」の撮影を担当した。



「囲碁と人生」物語

昭和60年11月10日付けの埼玉新聞には「若さの秘訣ここにあり」「85歳囲碁に徹す」「無限の世界まさに人生の縮図」といった見出しで津坂宗一氏を大きく取り上げている。

この記事の書き出しは次のとおりである。

人生五十年下天のうちをくらぶれば……の名句も今は昔の話。こん日では65歳以上の人が人口の10%を占め、高齢化社会の到来と共に、老人対策が社会問題とされ、いろいろの角度から論議されるご時世になりました。そうした中であって、ボケ防止のひとつの手引きとして“趣味”なる課題が提供されゲートボール、カラオケの流行をみるようになってきました。しかし“趣味の生活”というだけで全てが解決したといえるのでしょうか。では真の老人対策とは何か？という窮極を求めらば、それは自ずから社会の一員たる矜持（きょうじ）であり、社会との連帯感に生きる自覚にほかならないといえます。さりとして、こうした自覚への喜びは、何によって生まれ、何によって実るのでしょうか。そこには千状万態にして多岐多彩なる道があるといえますが、ここにご登場願った津坂宗一さんは齢八十五歳にしていまなお嬰鑠（かくしゃく）、四十歳後半から手習いを始めた囲碁を通じて広く社会と結ばれ、席温まるいとまなき活躍が続けられています。そこで、津坂さん八十五年の人生航路にスポットを当て人生の生き甲斐ここにありとする歩みを紹介しましょう。題して「囲碁と人生」物語です。

ここにご登場の津坂宗一先生は、東京玉翠会の会長平井健吉氏や京阪神支部長で関西電力名誉会長の芦原義重氏と同期で、大正7年のご卒業である。

以下続けて埼玉新聞の記事をそのままご紹介したい。

ご先祖眠る川越に

津坂さんの履歴書は、明治33年6月18日松江市で誕生から始まりますが、もとをただせば川越藩に仕えた末裔（えい）なのです。お父さんは若くして三芳学校（藩の子弟を教育する施設で、今日の川越第一小学校の前身）の校長となった学者肌の士で

あった。

明治文明開化になるに及んで、フランスの法律学者ボマスナード氏に師事して法律を学び、東京愛宕の田村町で弁護士を開業したけれど、間もなく判事に転じた。

これより東京を振り出しに神戸、笹山、松江、岩国、大津、水口、大津、高松と歴任された。そこで当の津坂さんは、旧制の高松中学から広島高等師範学校を経て教壇に立つ身となった。大正13年から昭和17年まで母校の高松中学に勤め、ついで松山の城北高女校長事務代行。そこで戦災に会い新居浜中学の校長に転出したのですが、戦後の二十三年のとき東武鉄道教習所長の招へいを受け、末裔再び故郷の川越に帰ることになったのです。もっとも、ご先祖眠る菩提寺が川越市の見立寺にあるので、心は常に故郷にひかれ、いつの日か帰郷を夢みていたといえます。

ところで、津坂さんは囲碁六段、連珠三段、そして将棋二段、しめて十一段の持ち主なのです。囲碁は裁判長だったお父さんが友人を家に招いて対局しているのを見て、ルールだけ覚えたのが中学生の時だということです。また、連珠にしても、教員同志が暇つぶしの遊びでという程度のことであったという。

車中で五十の手習い

囲碁を本格的に始めたのは川越に居を構えてからのことで、教習所に通う電車の中で詰碁を勉強するようになった当時の棋力は7級ぐらいだったそうです。これはまさに五十歳になんなんとし、さし当り五十の手習いということです。だが、熱は日増しにつのり、それからというもの、新聞雑誌に掲載されている詰碁には、手当り次第応募する熱中時代となりました。

看護婦さんの驚き

その後、朝霞市の根岸幼稚園理事長に推され、30年にはご令息の勤めの便をはかって現在の東京都板橋区成増3-31-20（電話03-930-7776）に転居された。

33年のことです。お嬢さんが琴の勉強をされるようになったある日のこと、たまたま近所に住む二人の看護婦さんが琴の音に誘われ、共に勉強するようになった。

きょうも熱心な勉強のあと、ひとりの看護婦さんが正座で足が痺れ、立つ瞬間仰向けに倒れてしまった。その時、彼女の目に映じたのが囲碁二段の免許状、それに津坂宗一の氏名である。「あら……」彼女の口から驚きの声が発せられた。それというのも、実は彼女は東京へ来る前、浜松市の病院に勤めていた。その医師も囲碁愛好家で、

これまた、詰碁には必ず応募するマニアであり、しかも、応募当選者の氏名まで丹念にチェックするという熱の入れ方の人であった。

ある時、看護婦の彼女がミスをした。すると例のお医者さんが「君も碁を習って少し落ち着くようにしたまえ。東京の人で津坂宗一さんという方は全国あらゆる詰碁に応募されておられる。どのようなお方かな？」と話された記憶がよみがえったというのである。彼女も驚いたが、その話を聞いた津坂さんの方が更にびっくりした。「うんー」と暫し言葉なし。ややあって津坂さんは考えた。そこまで調べている熱心な方がいるとは……そして囲碁という見えざる糸に結ばれている人が全国に幾人いることか。「世間は広いようで狭い」という格言がこれほど実感として迫ったことはなかったし、心自ずから温まるのを覚えたという。

素晴らしい素質

次は連珠の挿話です。それは40年の秋、奥さんを伴って習志野市の谷津遊園地へ菊を見に行ったときです。ふと見ると会場の一角で連珠大会が催されていた。津坂さんは茶目半分の気持ちで大会に出場した。結果は7等入賞であった。帰り際、専門棋士に呼ばれた。何事かと思っていたところ「あなたの打った一手は専門家の間でも疑問手とされ、未解決の手とされているのです。素晴らしい素質を持っておられますね」というおほめの言葉に津坂さんも恐縮したというのです。そのあと萬伯亭棋士がわざわざ津坂さん宅を訪れ“連珠虎の巻”の贈呈を受け41年1月2日付けで三段の免許状を贈られたというのである。その時のことを「主人は一体どこへ行ってしまったのかと、会場を隅から隅まで捜しまわりましたよ」と奥さんも述懐されておられた。そこで津坂さんは萬伯亭棋士との縁（えにし）にあやかって伯葉の号を持つようになった。

このように、ひと度心ひかれたことならば、とことん追求してやまない学究的精神こそ、いまなお若さを失うことなき根源というべきでしょうか。お見受けする和らいだ表情では、到底知るよしもない津坂さんの秘訣をそこにみる事が出来た。

少年少女にも指導

囲碁の方は、33年、58歳のとき、飛び付き二段を獲得、35年日本経済新聞の“次の一手”が当選したのを期に三段、37年四段、38年五段そして41年2月1日六段といえますから、この間僅か9年にしてまさにうなぎ登りの昇段記録をうちたてるという驚異の持ち主なのです。

現在関係されているのは朝霞囲碁連盟、志木支部、柳蛙会、成増いこいの家囲碁愛好会、台風会の五つのグループに属しています。朝霞囲碁連盟では少年少女の指導、柳蛙会では特別指導員として、あちこちから引張りダコ。また成増の囲碁愛好会では会長に推され、毎月行われている大会では、全勝者に津坂白葉揮毫による扇子が贈られているのです。そこで参考までに扇子を拜見させて頂いたら墨痕あざやかなる一文「忍ぶべきは忍ぶこと」は、そのまま津坂さんの心境というべきでしょう。また台風会なる集いは、東武鉄道関係の愛好者グループで、ひと頃中休みとなっていたのを復活させ、これまた世話役となっているのですが、目はただ一つというのに暴れまわるのが台風会なるところとは、まことにユーモアである。このほか、日本棋院の催しには欠かさず参加、さらには埼玉の知己を招いての囲碁会等々、囲碁ひと筋の歩みは、なおも続けられている。

若い人達の鏡に

「家内がよく言うのですがね。温泉へ行ってお風呂にも入らず、碁ばかり打っているのでは、温泉に行った意味がないじゃないですかってね。でも私はねナイターが強いんですよ」と、笑いながら「碁は三十数盤打っても疲れません」。それでいて一戦一戦几帳面に記録し、今年の戦績は9月末現在でちょうど七百勝ということですよ。

「碁は、ほんとうに面白いですね。僅か三百六十一路の有限の場に千変万化、無限の世界が展開されるのですから。人生の縮図とはよくも言い当てていますね。でも、この頃になってやっと自分の碁が打てるようになりましたよ」

「……自分の碁が打てるようになりましたよ」この言葉は碁を知る人にとっては、けだし聖哲の声と響くことでしょう。水高きより低きに流れる自然の摂理をそのまま法(のり)とするは、理屈のうえでは誰もが承知していることだが、いざ盤に向かうとき、欲望が先行してしまう。さすがは徹しきった津坂さん、これからは公式戦には大いに出場されて、若い人達のこよなき鏡となって頂きたいと、願うこと切なるものがあります。

付記

(1) 東京民報主催で毎年三人団体囲碁大会が開かれている。一昨年は津坂先生と石川公夫氏(昭和13年卒)掘家勇氏(昭和20年卒)がトリオを組み高中グループとして

出場、3位に入賞した。各グループは同じ職場とか友人とかが多いなかで、高中グループのように同じ卒業生で、しかも教師と教え子という関係は非常に珍しく、注目を浴びたそうである。

- (2) 毎年夏、東京で全国高校の囲碁大会が行われ、その模様はNHKの教育テレビで紹介されている。高松高校は毎年県代表として出場している。津坂先生はこの大会の時には毎年日参され、母校の選手達を温かく応援しておられる。高高は団体戦は、いまいちのようだが、個人戦では昨年は女子の部で8位に入り、一昨年は男子の部で4位に入賞した。4位に入賞した菊池勇夫選手はごほうびに中国へ親善試合に派遣された。
- (3) 今年の6月津坂先生は満86歳を迎えられた。今年に入ってから5月末までの囲碁の成績は450勝131敗で、勝率は77%である。プロの武田操四段は梶原武雄九段のお姉さんであるが、津坂先生は武田四段と親交がある。武田四段は先でよいといわれるが、二子でお願いしているそうだ。
- (4) 高中31回卒業生は卒業60周年を記念して、7月7日高松市西宝町にある喜代美山荘で同窓会を開く。全員宿泊するそうだ。津坂先生はご招待されており、ご出席を楽しみにしておられる。



昭和60年11月10日埼玉新聞に掲載

東京晩翠部会座談会

昭61年5月19日

司会者 松 浦 三知子(昭4年卒)

出席者 堀 部 静 江(大7年卒) 家 高 美恵子(大15年卒)

佐 伯 綾 子(昭5年卒) 前 田 フ ミ(昭8年卒)

岡 式 子(昭11年卒) 東 原 武 子(昭13年卒)

堤 久 子(昭15年卒) 和 波 良 子(昭20年卒)

星 野 昭 子(昭23年卒)

司会 お忙しい中をお集まり頂いて有難うございます。本日は東京晩翠部会々員中それぞれの年代代表の方にお集り願い、その年代の思出を中心にお話しいただくことになりました。

堀部 当時の女学生は向学心が強く同期のうち八名が進学し就職をしました。服装は元禄袖や筒袖の着物に袴姿、髪は三つ編みで長い人は腰の辺まで垂らし、その方が男子学生に持てたようです。と申しても今と異なり通学途上で人気がある位、それが私には羨望の的でした。東京晩翠会の発足は昭23年頃阿河様(明39年卒)を中心に設立され、30年間会長を勤められました。役員は大森氏と私で、二代目会長は櫻井様(大5年卒)、三代目は現在の松浦様です。会員約650名、総会は懇親を中心に150名位の集りで、私の東京生活には随分励みになりました。今後は部会の総会を2年毎に開く申し合せが出来てうれしく思っています。

家高 私は五年制女学校が初めて高松に出来て愛媛県から越境入学をして寄宿舎生となりました。寮生80名位、舎監の山西、荒井両先生外の躰は厳しく文通の検閲、外出帰舎の際は許可印を貰い、門限は午後四時でした。心を惹かれた恩師の影響で、現在なお生甲斐のある生活を送っており感謝をしています。

司会 例えばどんな風に、

家高 今に残っているのは角南先生からマルクス論を伺った時、英語の田花先生はクラシックの名曲を聞かせて下さったり、奈良の仏様が僕の恋人だと云われて写真や話をして下さり、私が今、奈良に旅をしたり仏様の絵を書いて賞を頂いたのも先生のお蔭です。20年前から日比谷で古典ゼミナーを開講し学習院大の黛教授外の講師



をお招きして万葉や禅の勉強をしています。誰方でも何時からでも興味のある方は御参加下さい。

佐伯 大正12年から制服になり長い上着に、ベルト、バスの車掌さんのような恰好でした。(90周年記念13頁服装参照)

司会 白袴を外したら祝祭日の礼装となる母校の洋服化は全国的にも先んじていました。

佐伯 スカートの丈は床上り30種、髪の長さは握り拳一つ以上とか厳しいもの、映画は学校が許可したものを父兄同伴が条件。運動も盛んで私は身体が小さかったのでバレーボールの後衛選手、下級生の前田さんは中衛でした。放課後遅くまで練習し優勝もしました。大の場海水浴場でよく泳ぎ、遠泳では屋島長崎の鼻や女木島から泳いで帰りました。

前田 佐伯さんは日本マスターズの競泳70才台の部に出場し、昨年と今年日本一になり金メダルを獲得なさいました。私の四年の時水泳部が誕生しましたが、校内にプールがないので高松高商のプールを夏休みに借用し、一年先輩の岡野玉翠会副会長等と真黒になって練習したものです。長距離遠足は身体に応じた隊に参加、私は特隊に、夜明け前に出発、星を仰いで帰宅、白峰や塩之江に行きました。当時、教科書は上級生のお古を譲り受けて使用したものです。

司会 よく出来る人の本は書きこみがしてあり人気がありましたよ。月謝は割合高く三円三十銭、兄の中学校は四円でした。うどんが五銭位、近くにうどん屋『四五銭亭』がありました。

岡 私の在学中は校舎改築の準備期間でごたごたしていました。校則は厳しく学力は優秀でした。セーラ服に白線ワンは憧れでした。私はバスケット選手で神宮まで試合に来ました。其の折、東京晩翠会の方から大変な歓迎を受け、田舎娘が感激して帰りました。

東原 入学試験は難しく、各小学校は課外授業をして、難関突破に備えていました。

とにかく一本白線のスカートは憧れでした。

入学の年から鞆はランドセルに変わり、修学旅行も昭4～昭12年迄九



州でしたが、昭13年卒から東京に変更しました。新校舎は昭13年に完成し、改築寄付金十円を納めました（月謝五円）。自習時間にはよく床の糠磨きをしたものです。

堤 三年の時、支那事変が始まり学校へよく軍楽隊が来ました。アフガニスタン公使館付武官が講演に来校、今後は戦時態勢になって行くだろうと云われ、その通りななつたのが忘れられません。太鼓橋のあった古い校舎から新校舎と両方の学舎で勉強しました。



和波 入学試験の間際になって口頭試験のみに変更、昭20年の卒業は前代未聞五年生と四年生が同時に卒業する非常時でした。一年の時支那事変始まりました。担任の藤田先生（国語）に仏像の絵等見せて頂き素敵だと思ったのが今に好きな素因だと思います。小西先生（物理）から人類滅亡に連なる原爆の話の伺い、後日広島、長崎の原爆があり驚きました。英語は進学する一部の人のみ、歴史は現在とは全く異なるものでした。昭19年からは川西航空、倉敷飛行機へと学徒動員（90周年記念誌32頁参照）になりました。戦争中を生き抜いた学生生活で修学旅行等優雅な思い出はありません。現在の学生を羨やましく思う反面、自分等は少々のことでは挫けないんだと云う自負があります。



星野 戦争中は軍国主義一本やり、勉強より田植、稲刈等に出動、たまに白い御飯の接待を受けると喜んだものです。厳しかった学校は終戦を境に先生方の態度が一変し、その落差の激しさに戸惑い、自分の人生観に大変なショックを受けました。空襲後、母校には軍隊と県庁が入居、生徒は分散して分校授業をし、終戦一年後やっと校舎で授業再開、どちらかと云えば文化活動が盛んでした。校舎再建と運動場拡張の資金作りに全校一丸となり自作自演の移動演劇とその切符売り、音楽は安藤、工藤両先生御指導のコーラス部が西日本優勝を飾り、文化祭には物資の無い時のバザーが好評を博し、昭23年には女子高校が発足しました。



「ふるさとの 港近しや 鳥雲に」

前田記

（編集者注）

座談会の中で家高さんがお話しの古典セミナーについて七月の予定を聞いてみました。

7月5日（土）午後2時—4時

古事記（第1回）学習院大教授 黛弘道先生

7月19日（土）午後2時—4時

源氏物語（第100回）慶応大教授 西村亨先生

会場（日比谷）大正生命館—地下2階ホール

地下鉄→日比谷線日比谷駅下車 駅構内よりすぐ会場へつづく

国鉄→有楽町下車 有楽ビルに沿ってお堀端へ3分（日比谷交差点角）

会費1,300円（入会金ナシ）

毎月第1第3土曜日に開催、1回きりでもご都合の良い時、お気軽にお出かけ下さいとのことです。



腹ペコ・焼跡から逞しく育った二七年卒

(高中昭和27年卒) 久保醇治

1. 老けた友こそが我が故郷高松



故郷は遠きにありて想うもの、そして哀しく詩うもの……(室生犀星) というのが、東京にいて、頭が禿げたり、白髪の友が故郷であり、鳥の足跡がふえた同級生こそが、紛れのない高松である。会えば安心し、讃岐弁で元気をとり戻すのである。

私たちは、青春を共にしあった同志であるし、語り合うとき、一瞬にして失った少年・少女時代をとり戻す。私のコンセプトは次の

“アッそう” “民主主義” “DDT” (高中一年) “ワンマン” “社会党” “憲法” (〃〃二年) “フジヤマの飛魚” “軍事裁判” (〃〃三年) “きけわだつみの声” “プロ野球分裂” (高高一年) “チャタレー夫人の恋人” “朝鮮戦争” (高高二年) “映画羅生門グランプリ” “ジャズ流行” (高高三年) で記憶が戻る。

私たち27会の同級生は六年兵であって旧制高中、あるいは県女に入学し、高高を卒業するまで六年間在学したのである。中には在校九年の豪の者もいた。

2. 長かったオトンボ生活

私たちは、高高二年生になるまで下級生のいないオトンボ学年であり、高中、県女の最後の入学生である。苦勞もしたが、自由で若さあふれる六年間であった。

昭和21年4月、学び舎は、高松空襲で全焼していたため、西浜小学校で受験し、高松郊外の小学校に分教場(香西、弦打、屋島、川岡、平井、)が設置され、私は川岡分教場で高中のスタートを切った。

椅子のない座学で、教科書もなく、ガリ版刷りの教材という貧しい出発であった。

川岡分教場は川岡小学校の講堂であり、一年生から五年生が、学年ごとに固まって、授業を受けており、上級生の講義が絶えず聞えてくる環境のため、五年生の生物で「子供はどうして生れるのか。などが聞えるとそちらの方がはるかに興味があり、自分の授業に身が入らず、物象(物理とはいわなかった)の三好さんにひどく叱られた。

また、予科練帰りで命を拾った先輩が「おまはんは、国のため死ね言うとなつたのに、戦争で死んだのは犬死やいとる。太平洋の底で眠るとる〇〇君を思うと、おまはんは鬼じゃ」と泣きながら教師を殴っていた光景は忘れられない。価値感が一挙に逆転

した時代の悲しく辛い事件であった。

正直いって「これは親が言うところ的高中やないノー、机のあった国民学校から昔の寺小屋よりオトマしい学校に来てしもうたノー。」と学友と語り合ったりした。

同級生には穴吹義雄(前南海ホークス監督)、諏訪博文(高松市議会副議長)など67名が、This is a pen. Spring has come. I am a boy. と下手な英語を教えられながら高中生活が始まったのである。

“パカッ、パカッ”と馬で格好よく通学する先輩が通る度に、片道5キロを歩いて通う私は細い道の片隅に寄って、直立不動で敬礼させられ、トンボ草履に乗って通う身には、羨望の極みであった。授業中にその馬が餌を催促する光景は、私たちの青春の始まりであったと思い出す。

3. 焼跡の思春期と跡片づけの青春

高中二年生からバラック建ての高松本校に戻ったが、荒れ果てた校庭のあと片づけ、グラウンド、テニスコートの修理、中央球場の建設工事への学生動員と、授業よりも、もっぱら焼跡の片づけから始まった。

私は庭球部に入部した。香東川から砂を運び、ローラーでコート固める。固まると先輩が練習を始めるが、数カ月たっても練習させてもらえない。“民主主義は自由・平等の筈じゃ、先輩連中の頭の中は軍国主義のままじゃ”と腹を立て退部した。

今、ヤングギャルがテニスに夢中になっているが、いい時代であると思う。

野球部でも、どこでも同じような跡片づけと土木工事の半労働者であったのである。

私は予讃線の汽車通で、超満員の貨客混結に端岡駅から乗るのだが、乗る場所がなく、裸の連絡器の上に乗ったり、機関車の石炭の上に乗って、命がけの通学が毎日であった。

福家智君(極東産業)のように汽車から振り落とされる事故も度々あった。しかし、命がけで通学した割には、勉強に身が入らず、手作りのボールを使っただけの草野球にすべてを打ち込んだ。草野球は、授業が初まる前の早朝野球だから、一日のエネルギーの大半を費消して了うため、授業中ではもっぱら居眠りという“瀬戸内少年野球団”そのものであった。

高高三年の終りに、仲間の林正慶君(安田火災)が現役で東大法学部に合格したとき、自分の不勉強を棚に上げ、浪人仲間と口惜しがったものである。

4. 初恋はカルピスの味

高松高校一年生のとき、本格的な男女共学が始った。“男女七才にして席をおなじゅうせず”の教育の余韻を引きづってきた私たちは、もっぱら蛮カラストایلを得意とし、朴歯の高下駄をカランカランと引きづって歩き、腰に汚れた手拭きをぶらさげて中学生を送っていたのだが、その少年が、いつの間にか“質実剛健”を落して、髪をリーゼントスタイルに変え、可愛い女学生の隣に席が決ると、その科目だけ猛然と勉強したりする日々であった。

スクエアダンス、ピクニックなど男子と女子のグループ同志の交流も新鮮そのもの、当時、“カルピスは初恋の味”と宣伝されていたが、私も初恋を味わった。しかし、カルピスのように甘いものでなく、むしろ、苦しい想いの方が多かったと記憶に残っている。

二年生になったとき、初めて下級生が入学してきた。上級生の経験のない私たちは、彼等をどう扱えばよいか途惑ったものだ。幸い？、上級生の経験のある同級生（私たちの学年は、前年あるいは前々年以上まえに上級生だった同級生がすべて一緒だった。）の仕草をまねて行動することによって、先輩らしく振舞うすべをとり返そうとしたが、ギコチない状態であった。

映画部のM君が、下級生のKさんに恋心を抱き、しきりにアタックしているとき、国語のT青年教師がKさんを攫ってしまった。M君は嫉妬に狂い。卒業式恒例のスクエアダンスパーティの最中に強烈なパンチをT教師に加えて憂さを払した。適確なパンチが顔面をとらえたのは、私とH君とがT教師を羽交い締めにしていてせいであるが、今でも罪の意識に悩んでいる。Kさんは今でもT教師夫人であることからみて、真面目な教師と教え子の恋であった訳で、M君の横恋慕に、協力させられたのが真相のようだ。

5. 修学旅行のない淋しい別れ

私たちの時代は、物も食料も乏しい貧しい時代であった。日帰りの遠足のようなものはあったが、修学旅行は遂になかった。当時してみれば当り前のことだったのかも知れない。四十才を過ぎて、別れ別れの友と再会が重なる中で、昭和52・3年ごろから老いらくの修学旅行が有志の間で始まった。京都の然林房、伊豆長岡、箱根などで計画し実施した。高松からも参加者があり、生れて初めての同級生との一泊旅行は、

仕事から旅慣れている者でさえも、目を輝やかせて語り合い、飲み明す新鮮なひとときを共有した。失った修学旅行を20数年後にとり返したことになる。

しかし、同窓会に一度も姿を見せない友人が気に懸ってならない。34年前に別れたまま、三途の川を渡った者も居り、同じ学園で過しあった友を求めて、これからも、同窓会を大切な宝物として共有しあっていく決意に変わりはない。

6. 活躍する同級生

私たち高高27会の同級生は、六年間の学園生活を共にし、一回は同クラスで共に青春を楽しんでいるので、特に同級生が活躍していることに関心が深く、噂を聞くだけでも我がことのように楽しくなる。

穴 吹 義 雄 毎日放送、毎日テレビ野球解説者、前南海ホークス監督
平 尾 圭 吾 著述業、小説現代に連載中、その他キネマ旬報、英語青年で常筆
森 岡 博 史 号、恒舟、書道家、恒舟筆相会
佐々木 晴 夫 総理府恩給局長、元第二臨調事務局次長
高 橋 尚 道 オテルニューオオタニ
吉 田 正 全国漁協連
岩 本 喬 常盤興商社長
諏 訪 博 文 高松市議会副議長
鳥 飼 勢 三 都市計画設計・建築家
小 松 満貴子 京都経済同友会事務局長
箕 岡 慶 子 元オペラ歌手（ソプラノ）、現コンセールドサロンで活躍
井 上 和 子 東京家裁調停員
曾我部 礼 子 在インドネシア、洋装店

このほか、宮本博文（東京神田）、宮原章郎（東京六本木）、満岡文弘（高松）、平田英明（高松）など開業医。

多数が活躍しているのである。

有名企業で活躍している者も多いが省略した。五十才を過ぎ、企業のトップまたはトップに近い責任ある仕事で充実した生活を送っている者もあり期待するところ大である。

（電通労連本部組織部長）

脈絡のない話

(高高29年卒) 西村 秀俊

思い出話など、まだ書く齡ではない。若い連中が何といおうと、そうなのだ。娘が高校を出たばかり。それも浪人中だ。親父としては、のんびりと自分の高校時代の思い出なんかにふけていられるか、というのだ。なのに、無理に書けという。そうまでいうなら書きましょ、と不貞腐れ気味だから、当然、まともな書き方にはならない。脈絡なんぞにも気は使わない。

昭和二十六年、入学。化学の実験室でガスの匂いをかいで、気分が悪くなった。担任のメルさんが心配して、電話で保健所に処置を問い合わせた。「ちょっと寝かせておけばいい」という返事だった。なに、寝るまでもなかった。それまでガスという奴に、お目にかかったことがなかっただけなのだ。ああ、『都会』の学校に入ったのだ、と実感した。

二年生の夏、志度の海辺にあるA君の家へ数人で遊びに行った。何日も、彼の部屋でゴロゴロしていた。一夜、伝馬船を漕いで志度湾を斜めに横切った。M海水浴場の近くに、学年きっての才媛Tさんの家があった。きっとガリ勉しているはずだ。うん、そうに違いない。よし、偵察に行こう、ということになったのだ。交代で二時間も漕いだらうか。もう人けも跡絶えかかった浜辺に上陸、敵の家の回りを足音をしのばせるようにして一周した。一室にだけ灯がついていた。それが彼女の部屋だという根拠はなにもなかった。が、ことの勢いとして、見ろ、やっぱり、やってるやってる、あれだから、できるのは当たり前だ、ということにしなければ恰好がつかない。みんな凱歌でもあげるように、ワイワイいいあった。そのくせ帰りの船の櫓は、やけに重かった。さっきまでとはうって変わり、みな黙りこくっていた。気分を出すために、蓄音機を乗せてきていた。だれかがレコードをかけた。アーシターァハーマアベーエオー、サーアマァヨエエバー。櫓が水を切るたびに、おびたたい夜光虫が、とろりとろりと光った。Tさんは、大学を出て結婚後まもなく亡くなった。A君宅は裏の海を埋め立てられて、いまは陸地のまんなかにある。このころラジオから流れていた歌、リンゴ追分、アルプスの牧場。当時は灰田勝彦をまねて裏声も出せたのだ。レイホー、レイホー。

のべつ腹が減り、のべつうどんを食べていた。学校のうどん食堂で一杯10円、市役所の食堂15円、あづまや25円、ゆえに、たまにぜいたくした時の記憶は、変に鮮明だ。片原町に「豚勝」という店があって、どういう経緯からか忘れたが、三、四人で入った。大人の客が注文したのを見て、トンカツを幾切れかに切って卵・玉葱と一緒に煮たのを、ご飯に乗せる食べ物の存在を知った。すなわち、カツどんとの初対面。以後、長いつきあいとなる。常磐街の、その名も「常磐食堂」のBランチもまた、驚異的豪華料理と思われた。一皿で山海の珍味がことごとく味わえる心地がした。いまもって社員食堂に、この手の盛り合わせ洋定食があると、弱い。もとより、再びあの味にめぐり逢うことはない。それでも、八つ切りの飾りミカンまで食べてしまう。こんにちの出っ腹の淵源、実にここに存す。

トッカン(常磐映画館)で、小津安二郎の『麦秋』を見た。ラスト・シーン、もう人生にすることがなくなった老夫婦が、爽やかな風に揺れる麦畑を見つめている。その向こうの方を、嫁入りの行列が行く。高校生だったくせに、なんであんな哀切な場面を覚えているのだろう。畜生。娘よ、当分浪人をつづけろ。大学出て嫁になぞ行き急ぐでないぞ。この年はやった歌、上海帰りのリル。歌がヒットすると、たいていキワ物の映画になった。森繁久弥が、つまらない役で出ていた。つまらない役を、懸命に面白く演ろうとしていて好きになった。のち、仕事で半年、屋根の上のバイオリン弾きの名優とつきあった。この映画のことは話さなかった。そういえば、あれを見た頃、ちょっとした失恋をしていたのだった。リール、リール、どこにいるのかリール。

講堂でインターハイに出場する各運動部選手の壮行会があった。応援団リーダーの音頭で、どの部にもいちいちエールを贈る。フレイフレイ陸上、フレイフレイ庭球とつづいて次はバドミントン部。長すぎる。さて、どう叫ぶのか。そのときリーダー少しも騒がず、「フレイ、フレイ、バードォ」。同窓だったバードォの選手の一人が、この四月、病死した。ダブルスを組んでいた相棒が、葬儀委員長を務めた。

大学進学率10%の時代にあって、すでに高高は進学校の様相。三年生の秋、進学適正検査を受けに香川大学まで、ぞろぞろつながって行った。今でいう共通一次試験のごときものである。ただし、中身は知能テスト風で、日ごろ数学や英語で目にも物を見せている秀才とて、必ずしも高い点が取れるとは限らない。メダカを迷路に入れて泳がせるとどうのとか、砂糖を毒薬だと思って憎たらしい奴に飲ませたら罪になるとか

ならぬとか、アホらしい内容の試験だった。やらせてる方も、さすがにすぐアホらしいと気がついたらしい。ごく短期間実施しただけでやめになった。が、当時は東大なんぞもこれで足切りをしていたのだ。この時期に限り、行くべくして東大に行けなかった悲運の英才の、あまたあるを知れ！ もっとも、アホな進適だけスイスイで、二次試験にはイチコロでやられた当方の場合、残念ながら、この台詞使えない。

二十九年三月、卒業。この年、ロマンス・グレーという言葉が流行語になったと、手元の年表にある。そんなこと、もちろん覚えていない。シラガ頭になってロマンスもヘチマもあるか。じじいども、未練たらしいぞ。若さ昂然、多分そう思っていたからだろう。

(朝日新聞東京本社論説委員)



同級会報 発行前後

(高高33年卒) 井上 榮

昭和57年6月26日——第8回東京高高会の総会が、ホテルオークラ“曙の間”で華やかにしかも落ちついた雰囲気の中で行なわれていました。その総会に来るべき「東京玉翠会」へと発展移行する、言わば「東京高高会」最後の総会でもありました。私たち昭和33年卒業生は奇しくもその時の担当幹事を務めていたのです。それは高高会総会史上最高の513名の出席者を数え、私たちは燃えに燃え、なかんずく83名を動員（高松3人・大阪1人）した我が学年。結束力はとどまるところを知らず、やがては会報発行へのレールが敷かれていったのです。

散会後の二次会では会報発刊に向けての話題が飛び交いました。青春をともした友人の大切さを肌で感じ、友情の輪をさらに広げ、そして深めていこうと……。

ところが、今にも発行できそうな会報づくりが、結果的には2年7ヶ月も遅れてしまうことになりました。原稿集め、編集者の人選、割付、校正等の場所、資金調達etc. そうしたことを後まわしにして、出来あがることのみ夢に描いていたのです。

創刊以来年に一度の発行ですが、今年で第3号を数えました。“継続は力なり”これからも編集者を持ち廻りにするなどの工夫を凝らしながら続いていくことでしょう。私たちの仲間にはそんな不思議な力があるのです。6月の総会、12月の忘年会は勿論、事ある毎に声をかけあい、集いあい、趣味の会（囲碁・釣り・ゴルフ・陶芸教室・旅行会・お茶会）や転勤あるいは昇進祝等、各々の人達がそれぞれの場所を通じて親交を温めています。

東京近郊在住者も、男子79名、女子51名を数え立派な名簿も出来上っています。

讃岐で育ち過した、懐しい時代のよき仲間が再びめぐりあい、時間をかけて今日の絆となったのです。その礎となったのは、あの総会を担当し成功に導いたことに他なりません。

今後の玉翠会がますます発展することを心から願っております。

(井上美術印刷株式会社取締役社長)

南極雜記

(高高37年卒) 上田 豊

1984年11月14日、26次隊をのせた南極観測船“しらせ”は、晴海埠頭を離れた。船と岸壁との間の黒い水面がみるみる広がり、見送りの人びととの間を無情にひき裂いてゆく。その群衆は、すぐにひとつの塊としか見えなくなってしまった。

とうとう出発してしまった……。飛行甲板に立って遠ざかる東京のビル群をながめながら、わたしは、ちょうど一年前の25次隊の出発を、きのうのこのように思いうかべていた。そのとき、いま南極にいる彼らを見送りにきて、わたしは岸壁に立つ人の側にあった。わたしたちは、雪氷学グループの研究プロジェクトを実施するため、ここ数年4名づつの隊員を越冬隊35人のなかに送りこんでいる。25次隊の仲間たちは「一年後、南極で会いましょう」と言って、硬い握手をして出発した。遠ざかる船影を見送りながら、「行かざるをえないか。しかし……」と、わたしの気持は、まだ完全には、ふんざりがついていなかった。

わたしが高松高校に入学したころ、故西村先生や先輩たちの熱意によって山岳同好会が発足した。当時おもいもよらなかったが、これに入会したことが、自分が将来むかってゆく航路への第一歩であった。それが、大学以降のヒマラヤ登山や氷河の研究につながっていった。大学院にはいった年、10次隊で南極で越冬したが、その後はヒマラヤにもどり、ここ10年来、ネパールの氷河研究を続けてきていた。その成果も一応まとまったころ、半世紀以上門戸を閉ざされていた中国奥地が、外国人に開放されはじめた。宿願をはたすべく、わたしの針路は、チベットから天山にいたる内陸アジアへ向かっていた。

気持の方向転換は、わがままな学生気分延長にあったわたしには、容易ではなかった。しかし、わたしたちの仲間は少ない人数で南極、パタゴニア、ヒマラヤ、内陸アジアなどの研究をささえている。皆がその時時の持ち場を守ってゆけば、今後さらに望みのフィールドが広がってゆくであろう。当面のわたしの持ち場は、客観的にみれば、南極であるべきだった。南極行の準備に追われながら、わたしの腹は、一年のあいだにすわっていった。

晴海を出て1ヶ月後、“しらせ”は南極の氷海に突入した。浮氷域は、水、氷雪、

空だけで構成された無機質の世界である。地球上の景観をかたちづくる物質のなかで、これらほど、太陽の光のさしかたで、色どりがあざやかに変わる物はないであろう。極地の夏、白夜のものに広がる静かな夕景は、したたるようなオレンジ色の光につつまれ、その色に体の中まで染められるかのようだ。

昭和基地のあるオングル島に近づくと、ペンギン、アザラシなど豊富な生物群が迎えてくれる。大陸の沿岸部は、南極のグリーンベルトともいえる豊かさにめぐまれている。しかし、わたしたち雪氷研究隊員のフィールドは、その彼方、大陸の氷床にある。内陸班の8人は、昭和基地を素通りして、ヘリコプターで大陸氷床に降り立った。年が明けた1月6日のことであった。

25次隊内陸班に再会し、かれらの協力のもと、空輸された43トンの物資を26台のソリに積みこむ。これを8台の雪上車で、250km内陸にあるみずほ基地まで運ぶ。ここに3隊員を残し、5人でさらに500km内陸に向かう。その目的は、新しい前進拠点を高度3200mの高原部に建設することである。これは26次隊の内陸高原の観測基地になるとともに、冬あけの本調査でその後背部を形づくる内陸ドームをめざすための拠点ともなる。また将来、氷床深奥部に本格的に調査域を拡大してゆくための大きな布石でもある。

3台の雪上車が、けん引可能量一杯の荷を引き、雪面が風でえぐられてできた凹凸が南極でも最も激しい地域を時速5kmくらいでノロノロと進んだ。25次隊のシュプールをたどり、1日40キロ台の行程で2月7日、目的地に到着した。-40℃の寒気のなか、プレハブ冷凍庫を改装した24㎡の居住棟を2日間で無事組立てた。11次隊がみずほ基地を設置してから15年ぶりに、わたしたちはさらに内陸に拠点を持つことになった。

3月1日朝、気温は-53℃まで下がった。この日、内陸おろしが銀色の地ふぶきを吹きあげるなか、無人気象観測装置を残して前進拠点を去った。わたしたちの鼻先や頬は、ここで作業した20日あまりのうちに、凍傷のためコーヒ色に変わっていた。

3月下旬、大陸と昭和基地との間の海峡に張った氷板が流される直前に人員を交代させ、4月から5名の隊員で、みずほ基地での孤立した越冬の生活をはじめた。建物はすべて雪の中に埋まっている。地上ではほぼ常時、風速10m/sをこえる地ふぶきが吹いている。7月16日には、この基地開設以来の最低気温、-61.9℃を記録し

た。……

太陽の出ない60日間をはさんで、いつのまにか8月となり、冬あけの最初の交代便が昭和基地からやってきた。そして9月27日、昭和基地からの内陸旅行隊員とともに、合計8人でみずほ基地を出発、待望の本調査にむかった。

わたしたちの観測プロジェクトは東グリーンモードランド雪氷研究計画とよばれ、氷床に雪がどのようにして降り積り（涵養機構）、流動してゆくか（動力学）、また氷床の環境がいかに変動してきたか（環境変動）を5年にわたって調査している。26次隊はその4年目にあたり、今まで充分調査されていない内陸高原域の涵養機構を重点的に調査する。その調査域には、南極第二の高さをもつ未踏のドームがあり、その正確な位置と高ささえ未知のまま残されていた。

春先の気温はまだ低く、高度3000mを越えると早朝は-50℃前後までさがる。雪上車の低温に弱い部分を守るため、出発時刻をおくらせる日がつづいた。みずほ基地を出て18日目、雪上車の屋根から6キロ先にあるはずの前進拠点を双眼鏡でさがす。居住棟は雪に埋まることもなく、逆光の夕がすみのなかに、その全ぼうを見せていた。7ヶ月半ぶりのことだった。

前進拠点では、昼夜2交代で20間かけて深さ200mのボーリングに成功した。こうして採取された氷のコアは、ここ数千年の環境変動を調べる資料になる。気象観測のため3隊員を拠点に残し、11月9日、5人で約50日間、およそ1000km行程の内陸ドーム調査旅行に出発した。

内陸高原は風弱く、青空の太陽に大きな虹のカサがかかり、ダイヤモンドダストがキラキラと舞いおりにいた。純白の軟雪に雪上車のシュプールが、深々と人跡を残していく。距離20kmで10mたらずの高度差しかない頂上部を測量で探索し、11月27日、高度3807mの地点を頂上とした。ここは日本隊が到達した地点では最高で、南極点よりも1000m高い。

頂点からの展望は、水平な海とおなじく、周囲5キロ程度である。しかし、ここより南の氷は、わたしたちが来た側とは反対の方向へ流れてゆくことになる。わたしたちは、これから別のルートを観測しながら、前進拠点へもどる。そこで隊を二分し、わたしの班は、一年前、昭和基地へ着く前に26次隊全員が建設した新観測拠点“あすか”にむかって、新ルートを拓くことになっている。このルートにはセールロンダー

ネ山脈があり、10ヶ月ぶりに見られる雪以外の景観が楽しみだ。山域にはクレバス帯がひかえているが、勝算があってこそ立てた計画だ。……

……ドーム頂上から2カ月後、わたしたちは、セールロンダーネ山脈のクレバス帯を抜けだしていた。わたしの心はすでに海をわたり、日本をこえ、タクラマカン砂漠に立ってコンロン山脈をながめていた。中国での本格的な氷河調査計画実現のレールがしかれたことが、日本からの電報で知らされていた。きゅうくつな国家事業、異質の社会から集まった隊員の協力をあおぐ気疲れの多い生活、それから離れ、ふたたび自分の性に合った自由な旅に、気ごろの合った仲間と出かけた。

しかし年がたつにつれ、いつのまにか責任の重い立場にしばりつけられつつあることは、今回の南極でよくわかった。どこへ出かけても、かつてのような楽しみ方は、もうできないだろう。今ごろになってそんな事をさるとは、多分わたしは、しあわせな生活を送りすぎてきたのであろう。

（山口大学教育学部助教授）



後列左から2人目

ふるさとは近くにあり

(高高37年卒) 猪 又 清 之

36才になった時、「この日から東京での生活が、四国での生活より長くなる。私の中から四国がなくなってしまう。」といった感慨をもった。しかし、この頃から四国が気になり出した。それまでは、高高会には卒業以来一度も出席したことが無かったのに卒業20周年の38才の時に初めて出席してみた。八百屋や魚屋の店先に香川レタスとか活めじ・香川魚連と書かれた段ボール箱があるのを見つけて以来、段ボール箱を見ると香川産のものでないかと確かめるようになった。

TVのニュースやドラマで高松が出てくると子供達を大声で呼んで「ここはどこで、お父さんが子供の頃……」と解説したりする。

最近TVでファッションメーカーのセシールという会社が外人を使い海外ロケした、垢抜けしたコマーシャルを流している。最後に四国・高松と出る。四国というと田舎くさいイメージがつきまとうがこのコマーシャルは、それをすっかり拭ってくれている。

四国から、うどんやそうめんのダイレクト・メールが時々くる。今はどこでも、それらのものは買うことができるので、申し込んだことはないが、そのダイレクト・メールは、他のダイレクト・メールのように、即クズ籠へ直行せず、しばらくはマガジン・ラックに入れておく。この前は墓地の案内まできたのには驚かされた。

墓地と言えば、家の近所に「春秋苑」という霊園がある。この前その中を散歩していると、東京小豆島会と柵の石に刻んだ墓があった。

本を読んでいると、高松の描写が出てくることがある。地理に詳しくあったり、登場人物の名字が向う特有のものであったりすると作者は高松出身でないかと思ったりする。最近偶然にもそれにぶつかった。読んでいくと母校の名前まで出てきてビックリしたので一節を紹介したい。

咲村観「倒産の詩譜」

『土曜日の昼すぎに会社を出、夕方には海辺の旅館に着いていた。ドテラに着替えると、加藤律子や酒村和歌子、和田美智子を伴い、山本とともに附近を散歩した。夕暮れの瀬戸内海の景色が美しかった。

島山の彼方の高松の街を高山は思い浮かべた。両親を早くなくしたため、高松の生

家には兄夫婦しか住まっていない。そのため、大阪へ就職して以来、まだ一度も四国へは帰っていない。』……

『40歳前後の端正な顔つきの面接者は、履歴書の記載をみながら、質問をはじめた。

「須山英介さんですね」

「そうです」

「東洋物産ではどんな仕事をしておられましたか」

「輸出繊維の取引が主たる仕事でした」

「23年間勤務していて、役職には、つかなかったのですか」

「はあ、中卒ですし、それにあまり優秀な社員ではなかったものですから」

英介はうそをいうつもりはなかった。しかし、昨日履歴書を書いているとき、昭和22年3月香川県立高松中学校卒とまでは書いたが、大学卒とはどうしても書くことができなかった。

役職も偽るつもりはなかったが、採用に影響するかも知れないとの懸念の気持が、記載を思いとどまらせた。』……

『さきほどの讃岐弁の男と、そのグループの者も、英介の周辺に座った。

大学生が1人と、あとは20歳代の労働者風の男達である。

今回は大阪採用者が200名余で、あと2日経てば、数10名の別地採用者が入ってくるという。不況のなかでの自動車産業の異常な好況に、英介は驚きを禁じ得なかった。

管理人の説明に従い、入寮に伴う手続が終ると、部屋割りが行われた。

「わし、和田ちゅうもんや、香川県の白鳥町の出身や、おっさん、同郷のよしみで、同じ部屋にせえへんか」讃岐弁の男が、今度は大阪弁で英介にいつてきた。』……

玉翠会名簿S22年卒に咲村観という名前は出ていない。勿論ペンネームなのだろう。それに近い名前はなかと探したがわからなかった。

しかし、本を読み終えて解説をめくっていると東大法学部を卒業後、住友倉庫東京支店次長のとき病気により退社と書かれてあったので、再度、名簿で探すと、出身校、会社名で合致するのがあった。

本名、飯間清範氏、西宮市甲子園6-7-28

主な作品「人事課長の憂うつ」「左遷」

いづれも徳間文庫

企業小説家として城山三郎氏とは又別の面からの取り上げ方で注目を浴びている。

向田邦子という作家がいた。56年に台湾で航空機事故のためなくなった。NHKの連続TVドラマで「あ・うん」というのが好評を博し、しばらくして再放送されたりもした。彼女の随筆集を最近読んだが、彼女は父の転勤に連れられて、各地を転々としたが、小学校の5、6年ぐらいから高等女学校の1年生の1学期まで高松に住んでいたことが書かれている。

「隣の匂い」

『その頃、私は四国の高松に住んでおり小学校6年生だったが、学校の帰りに必ず覗くうちがあった。路地に面した小さなしもた屋で、看板も出ていないが日本刺繍の下請けをやっているらしく、細い格子のはまった出窓から覗くと、4、5人の職人が木枠を前に手を動かしているのが見えた。

薄暗い畳の上を細い木の筒に巻いたヌメッと光る色とりどりの刺繍糸が走り、御所車や牡丹や揚羽蝶が気の遠くなるような丹念な一針一針で埋められてゆく。

職人たちは殆ど口を利かなかった。聾啞者ばかりを集めたのかと思ったほどだった。

特に窓ぎわに近い場所に坐る男は物をいわなかった。艶のない皮膚や陰気な顔立ちから私は年寄りだと思っていたが、見馴れるうちにかなり年の若い青年だということが判った。』……

『高松の社宅には、隣りがなかった。

父の会社が玉藻城のお濠に隣り合って建っており、そのうしろに社宅があって、片隣りは海軍人事部であった。前には大きな改正道路、まわりは裁判所や空地で隣り近所は無いも同然であった。

私の勉強部屋は2階にあり、窓から海軍人事部の中庭が見えた。時々、7、8人の若い海軍士官が銃剣術の稽古をしていた。稽古といっても半分遊びのようで、のぞいている私に気づくと、おどけて拳手の礼をする士官もいた。私も敬礼を返した。』……

『女学校は四国の高松にある県立第一高女だが、入学してすぐ、運動会で鉢巻を拾った。最上級の5年生の名前が書いてある。

落し物は、職員室へ届けるのが規則だったが、軍国主義華やかだった頃でもあり、大和撫子の象徴である鉢巻を落すとは何事かなどと叱られるのも気の毒に思い、2、3人の級友がつきそってじかに届けに行った。

落し主は色白の大柄の人で、朝礼の時、号令をかけていたので見覚えがあった。3つ編にしたお下げが、神社の拝殿に鈴と一緒に下っている緒のように太かった。胸も腰のあたりも豊かで、やせっぽちの新入生から見るとまぶしい程の大人の女に見えた。』……

文中、第1高女とあるのは高松高女の誤りで、私達の同窓である。彼女の作品はたくさんあり、あまりにも有名なので紹介は控えたが、この随筆等は文春文庫から「父の詫び状」というタイトルでも出されている。

最後に私のスクラップの中からとっておきのものを紹介したい。

よみうり寸評（読売新聞の夕刊、一面の下段に掲載されているもの、年月日不詳）

昭和3年の甲子園、準優勝戦で松本商業に3対0とリードされていた高松中学は、6回表、無死1、2塁、打者はトップのチャンスを迎えた。その時、大雨が降り出し、コールドゲームが宣せられ、高松は敗れた◆後の一高、東大の名投手、梶原投手や三原脩遊撃手のいた当時の高松中学は、25勝無敗の優勝候補だったが、審判の決定に一言半句の抗弁もなく静かに退場した。そのいさぎよい態度に観衆は同情と称賛の拍手を惜しまなかった。飛田穂洲氏が「ああなたたる心なきこのごろの天候ぞ、天人ともこの純真なる試合に迎合してその終りを全うせしむべきに兩大に下り……高松の痛憾は真に同情に値し、慰む言葉もない」と評した◆この時、高松中のベンチで水運びに汗を流していた背の高いマネジャーは、キューピッドというあだ名の4年生だった。少年は小学生時代、2軒隣に住んでいた水原茂氏（野球評論家）らの少年野球で活躍した。高松中では父の言い付けでユニホームは着かなかったが、3年の時、頼まれて野球部のマネジャーになった◆「こまかいことに気がつくいいマネジャーだった」（三原脩日本ハム球団社長）と言うが、本人は「マネジャーは、選手以上につらい。四国は強敵ぞろいで予選に勝ち抜くまで、水くみ、合宿の世話、氷の買いつけ、部員のカンニングもらい下げまで……だから今もって党のマネジャーをやらされたりしてね」◆コップ酒を一気にあおって少年の日をなつかしんだ成田知巳氏も今はない。

首都圏唯一の郷土情報誌を推せんします

讃岐公論

発行所 新宿区薬王寺町46-313

讃岐公論社 (TEL 353-2813)

社主 村尾 薫 (高中28回卒)

定価400円 (半年分2,500円 1年分5,000円 送料共)

本誌は創刊60年を超える伝統ある郷土月刊誌です
殊に「香川県だより」は、同窓生はじめ購読者の間で
大変好評です。ご存知ない方は是非一読を!!

東京玉翠会有志一同

太田薬局

太田 哲夫 (高高35年卒)

東京都昭島市玉川町5-15-31

☎ 0425-43-1808

阿比留・岡崎・大橋法律事務所

弁護士 岡崎 洋

(高高37年卒)

〒101 東京都千代田区神田淡路町1-9

ニューお茶の水402号

☎ 03-252-6866 (代表)

ふる里の味 自然の味

全国各地へ発送いたします

天ぷら・かまぼこ・からすみ

鯛の浜焼・鱈の味噌漬

魚徳本店

高松市片原町 TEL 0878(21)3530

東京讃岐マップ

同窓生またはその配偶者が
経営している店、事務所です。

〈主要ターミナル編〉



東京讃岐マップ〈業種別編〉

経営者欄は経営者またはその配偶者の氏名です。

料理・飲食

店名	内容	☎	住 所	経営者	卒業
①讃岐茶屋	手打うどん、季節料理	広告参照	日本橋、京橋、銀座、田町、御殿場	入谷幹郎	高々S26
②鳥 仲	やきとり	03(661)8748	中央区日本橋茅場町3-2-3 邦山堂ビル	中野京子	高々S38
③太郎坊本店	スナック・割烹	03(561)3456	中央区銀座3-8-8 銀座松屋3本裏筋	渋谷きわ子	高女S20
④キララ(昼の部)	喫茶	03(571)1059	中央区銀座7-3-13	鈴木新子	高々S28
遊 仙	和風料理	03(262)5219	千代田区五番町7-2 日本棋院会館内	中尾秀子	高女S15
や ま だ	懐石料理	03(221)0505	千代田区麹町1-8 ATIビル	山田 勲	高々S32
⑤八十八茶屋	さぬきうどん	03(464)8565	渋谷区道玄坂1-19-6	岡野博通	高々S27
⑥さぬきうどん高松	さぬきうどん	03(406)0865	渋谷区渋谷3-7-7 渋谷警察裏	藤村節子	高々S37
⑦ステディ	スナック	03(346)0988	新宿区西新宿1-18-13 藤森ビル	瀬則絢夫	高々S30
⑧アイビー	スナック	03(983)2720	豊島区東池袋1-41-14	渡辺 浩	高々S31
⑨弥 三 郎	手打うどん	03(971)8133	豊島区西池袋1-13-7	中尾秀子	高女S15
ち よ だ	料理・飲食	0423(75)9653	多摩市永山	塩田俊治	高々S32
さ ぬ き や	手打うどん	045(934)1813	横浜市緑区鴨井4-2	三島満代	高々S38

ファッション

店名	内容	☎	住 所	経営者	卒業
⑩ママ・ロッシェ	婦人服	03(404)9774	港区西麻布1-8-10	中村芳枝	高女S13
⑪ブティックRorsette	ブティック	03(407)1272	港区南青山5-7-17 小原ビル	木瀬堪子	高女S20
⑫クチュール エコレクション「ブーケ」	ブティック	03(470)1677	渋谷区神宮前3-7-2	田中千種	高々S30
千永洋裁室	洋裁	03(333)5408	杉並区高井戸東3-3-4	上原千永	高女S20
須永時計宝飾店	時計・宝石	03(333)9884	杉並区和泉2-33-19	須永玲子	高々S37

病院

店名	内容	☎	住 所	経営者	卒業
⑬中廣デンタルクリニック	歯科	03(591)5822	有楽町駅前晴海通り 常盤ビル	中廣哲也	高々S46
⑭山田矯正歯科クリニック	矯正歯科	03(464)1166	渋谷区道玄坂 井門ビル	山田 勲	高々S32
北村 歯科	歯科	03(703)0808	世田谷区深沢3-3-13	北村昌敬	高々S39
雨宮歯科医院	歯科	0425(83)3741	日野市日野本町2-20-13	雨宮高志	高々S42
宮武 医院	内科・外科・小児科	0426(36)8317	八王子市片倉町1221-26	宮武治郎	高々S32
菊地眼科医院	眼科	0426(43)0325	八王子市子安町1-34-12	菊地洋子	高々S35

店名	内容	☎	住 所	経営者	卒業
川原 医院	内科、外科、産科、皮膚科、リハビリテーション科	0486(85)5525	大宮市堀崎町1163-1	川原一仍	高々S34
芦原 医院	内科・小児科・胃腸科	0487(69)5257	蓮田市綾瀬23-10	芦原紀昭	高々S42
南入間病院	内科・小児科・整形外科ほか	0492(86)0550	入間郡鶴ヶ島町大田ヶ谷732	卯坂道博	高々S39
吉川整形外科病院	整形外科	0286(61)1611	宇都宮市泉ヶ丘1-15-21	吉川定雄	高中S21

法律事務所

店名	内容	☎	住 所	経営者	卒業
足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所	弁護士	03(270)7461	千代田区大手町2-3-6 タイム・ライフビル	宮武敏夫	高々S31
濱田法律事務所	弁護士	03(221)6261	千代田区平河町1-8-2 山京半蔵門パレスビル	濱田 清	高々S32
大西昭一郎法律事務所	弁護士	03(212)0841	千代田区丸の内3-1-1 国際ビル	大西昭一郎	高々S33
阿比留・岡崎・大橋法律事務所	弁護士	03(252)6866	千代田区神田淡路町1-9 ニューお茶の水ビル	岡崎 洋	高々S37
⑮藤井法律事務所	弁護士	03(431)2267	港区新橋4-31-7 中村ビル	藤井富弘	高々S26
⑯西川紀男法律事務所	弁護士	03(587)1841	港区赤坂3-2-6 バゴダビルディング	西川紀男	高々S34
小倉・田中法律事務所	弁護士	03(355)2268	新宿区四谷2-2 四谷ビル	小倉良弘	高々S39
山本法律事務所	弁護士	03(834)7021	台東区上野3-13-9 珠和ビル	山本隆夫	高々S38

税務・会計・特許・不動産鑑定・測量・設計

店名	内容	☎	住 所	経営者	卒業
岡田輝彦公認会計士・税理士事務所	税務・会計	03(263)0856	千代田区麹町1-3	岡田輝彦	高中S14
前田勇税務・会計事務所	税務・会計	03(265)9471	千代田区九段北4-1-5 市ヶ谷法曹ビル	前田 勇	高々S38
税理士山口修事務所	税務・会計	03(903)4111	北区赤羽1-37-13 城北ハイツ	山口 修	高々S33
近藤和彦会計事務所	税務・会計	03(835)0025	台東区上野5-15-12 原ビル	近藤和彦	高々S30
⑰山本亮一特許事務所	特許・審判	03(270)0858	中央区日本橋本町14-9 永井ビル	山本亮一	高中S7
⑱東洋鑑定所	不動産鑑定	03(508)1500	港区新橋2-10-9 ギイワビル	藤本勝己	高々S33
⑲シバ設計	一級建築士	03(476)4371	渋谷区道玄坂1-15-3-319	柴原 力	高々S34
香西不動産鑑定所	不動産鑑定	03(976)2107	練馬区光が丘7-7-2-1109	香西 勲	高々S33
新日本測量	測量	03(977)3371	杉並区成増2-8-11	森 章	高々S33

その他のお店

店名	内容	☎	住 所	経営者	卒業
⑳東宝日曜大工センター	日曜大工用品	03(504)3388	千代田区有楽町 東宝三番街ビル	江口英彦	高々S27
㉑カツミ堂写真機店	カメラ	03(571)0468	中央区銀座5-9-1	藤本節子	高女S19
㉒キャピタル航空サービス	海外旅行	03(593)1628	千代田区永田町2-10-2 TBRビル	森川 伝	高々S35

店名	内容	☎	住所	経営者	卒業
㊤T.P.I.海外旅行 企画株式会社	海外旅行	03 (403)8111	港区赤坂4-9-25	高坂 篤	高中S20
㊤オリンピックスタッフ	ゴルフ用名	03 (350)8041	新宿区新宿5-11-4 姫路ビル	藤原典雄	高々S35
㊤平川音響	音響製名 TELカード	03 (371)7641	新宿区西新宿2-5-4 北新成子坂ビル	平川峰子	高々S42
ナカヤマ	陶器店	03 (426)6830	世田谷区用賀4-19-2	中山誠二	高々S27
井上美術印刷	印刷	03 (819)0821	荒川区町屋1-4-9	井上 栄	高々S33
関口音楽教室	声楽・ピアノ	03 (993)1547	練馬区早宮3-52-2	関口女子	高々S37
市原音楽教室	ピアノ	03 (852)1366	足立区中央本町4-16-2-513	市原綾子	高々S37
エーブル	家庭学習教材	0486(44)5172	大宮市大宮町3-1 大泉ビル	芝草克久	高々S37
光薬品	薬局	0471(73)0935	柏市光ヶ丘1872-67	村上珠子	高々S28
川添絵画・陶芸教室	絵画・陶芸教室	0473(43)0851	松戸市中金杉2-125	川添莞爾	高々S33
目耕堂	書店	0467(23)0331	鎌倉市小町2-10	未沢 惇	高々S27

展示コーナーに美術品を出品していただいた方々です

氏名(卒業)	住所(TEL)	作品	略歴ほか
猪木匡四郎 (高中S10年卒)		日本画	昭和13年 北大子科中退 昭和17年 東京美術学校日本画科卒業 昭和31年 武蔵野美術大学奉職 日展十七回入選 個展・グループ展など開催
辻岡定彦 (高中S13年卒)		写真	昭和7年 日大芸術学部映画科卒業 洋画専門誌「スター・ストーリー」社長 辻岡編集工房を主宰し各種雑誌の編集に関わる。 引退後はカメラ三昧。 7月10日～15日ドイ・フォト渋谷で写真展開催
横田万年 (高中S16年卒)		洋画	三菱石油退社後絵描き三昧。
久保 篤 (高女T12年卒)		彫塑	木彫を経て60歳より彫塑を始める。
家高美恵子 (高女T15年卒)		日本画	初めての作品。 亡くなった子息の鎮魂を祈って
香川 利 (高女T15年卒)		彩色墨絵	過去8年間墨絵の勉強中
酒井慶子 (高女S16年卒)		仏蘭西人形 パネル	人形作家天野可淡氏に師事 彫刻家大森達郎氏に師事 松崎画廊・東急日本橋店美術サロンにて 仏蘭西人形展開催
橋野恵美子 (高々S26年卒)		洋画	昭和28年 二紀会展初入選 昭和30年 東京女子美術大学洋画科卒業 昭和56年 二紀女流奨励佐伯賞受賞 昭和58年 二紀会会員に推挙される 昭和61年 二紀会員展受賞
西馬和子 (高々S28年卒)		創作和紙人形	
村上雅子 (高々S28年卒)		ニードルポイント 刺繍	
村井信子 (高々S28年卒)		草木染 草履	皮工芸・草木染さわらび研究所主宰 菊地曉雄氏に師事
喜田祐三 (高々S33年卒)		洋画	日立製作所に勤務のかたわら自己流で絵筆を握っている。
竹内和子 (高々S33年卒)		ぬいぐるみ人形 レース編み	
川添莞爾 (高々S33年卒)		洋画	昭和37年 東京教育大学教育学部芸術学科絵画専攻卒業 昭和46年より二紀会展出品・二紀会選抜展・グループ展など 二紀会同入
木村美鈴 (川添莞爾氏夫人) (高々S34年卒)		洋画	昭和38年 東京芸術大学油画科山口教室卒業 サロン・ド・ブランタン賞受賞 昭和40年 東京芸術大学大学院版画専攻修了 香川大学教育学部美術科教授
河原忠一 山上 修 七条元一 岡野道子 加藤佳子 藪木 公子	相馬花子 田中美智子 中山幸子 松沢妙子 竹内和子 西畑皆美 鴨田昭代	焼物 茶碗 壺 花入れ	同期の川添莞爾氏の指導のもとに、焼物をした り作品を持ち寄って茶会をしたり、している。 昭和34年卒業の鴨田さんも入会。

展示コーナーに著書を出品していただいた方々です

氏名	住所	主な著作	略歴ほか
岩本三夫 (前校長)		我が望一少年南原嶠	現在 徳島文理大学文学部総務部長
三野英美 (三野文代) (高女S8年卒)		句集 こころの詩	軍人の夫とともに渡満 戦争未亡人として満洲から引き揚げる 高松高裁事務官を経て 現在 高松家裁家事調停委員、県遺族会相談員 俳句歴20余年
咲村 観 (飯間清範) (高中S22年卒)		●商戦 ●経営者失格 ●商社一族 ●メイン・バンク ●秦の始皇帝 ●上杉謙信 天・地・人	昭和28年 東京大学法学部卒業 住友倉庫を経て作家生活に入る
森岡博史 (号：恒舟) (高々S27年卒)		●筆相判断	昭和34年 東京大学文学部心理学科卒業 昭和50年 日本教育書道芸術院設立 現在 恒舟書道会、恒舟筆相会を主宰
平尾圭吾 (高々S27年卒)		●ニューヨーク遊遊記 ●アメリカ映画ちよつとい いせりふ ●気分はグッド・アメリカン ●バースが言いたかったこと	昭和34年 慶応義塾大学文学部卒業 大映アメリカ総支配人を経て独立、翻訳 を中心に映画、野球、競馬などを通じて アメリカ文化を紹介 「ジョーズ」、「タワリング・インフェルノ」 などの訳がある。
安部隆典 (高々S37年卒)		●疑惑の銃弾	昭和41年 東京大学文学部卒業 文芸春秋に入社、現在週刊文春編集次長
上田 豊 (高々S37年卒)		●残照のヤルン・カン	昭和41年 京都大学理学部卒業 昭和45年 京都大学大学院卒業 現在 山口大学教育学部助教授(永河学) <山歴> 昭和39年より 京大ネパール・ヒマラヤ遠征隊 (アンナプルナ南峰7256M初登頂) 昭和42年より 京大ブータン・ヒマラヤ遠征隊 昭和45年より 第10次南極観測隊 昭和48年より 京大土山岳会ヤルン・カン遠征隊 (ヤルン・カン8595M初登頂) 昭和49年より ネパール・ヒマラヤ永河学術調査5期 昭和57年より 日中合同天山山脈永河学術調査 昭和59年より 第26次南極観測隊 昭和62年より ロンノル山脈永河学術調査(予定)
浅野健一 (高々S41年卒)		●犯罪報道の犯罪 ●犯罪報道は変えられる	昭和39年 A.F.S 国際奨学生として米国に1年留学 昭和41年 高松高校卒業 昭和45年 慶応義塾大学経済学部卒業 現在 共同通信社記者

本年度総会幹事を担当して

今年の東京玉翠会の幹事を担当するに際し、私達は「東京玉翠会」は「同級生の集まり＝昔の仲間の集まりの会」であり、また「同じ故郷同じ母校を持つ同窓生の集まりの会」であることは勿論、さらに「交流の場を通じ新しい仲間となる為のきっかけを提供する場」ということを基本的な考えとして、企画、準備することにしました。

そこでは色々な先輩、後輩がいることを様々な方法で紹介しようと、展示、ビデオ、プログラムの充実などを考えました。本当に色々な人がいます。例えば37年卒にはロス疑惑を週刊文春を通じ告発した安部君がいますが、一方では、一連の三浦報道を始めとするマスコミの犯罪報道を鋭く批判する浅野君(41年卒)がいます。しかしこの様にお互いの立場は違っても、私人に戻れば同じ讃岐弁を喋り、同じ母校を持つ仲間なのです。そんな仲間の集まりの会が「東京玉翠会」なのです。

総会の2ヵ月前からは最後の追い込みで皆んな忙しく走り回りました。広告集め、集金に忙しい者、物品調達に奔走する者、展示作品の出品依頼に苦勞する者、当日の会を盛り上げる為の映像、スライド、ビデオ、音、照明の構成を必死に考える者、それに応じて映像、スライドの材料を集めて編集する者、当日の音楽、ブラスバンドの準備をする者、当日販売する物を手配する者、プログラムの原稿収集、校正、讃岐マップの作成に掛かりきりの者、学校への連絡で忙しい者、当日の進行の準備する者……まるで戦争を開始した様な状況でした。お互いに仕事や家庭は大丈夫かと心配になってくる程でした。

これらの準備に携わったのは私達の年度だけでなく、27年卒は久保さん、47年卒は松山君を中心に色々準備されました。38年(全般補佐) 39年(受付)、40年卒(図書募金)の方々にもお手伝いいただきました。又、すべての各年度幹事の方々、更にそこから紹介された方々にも、広告物品、展示、プログラムなどの面で色々とお世話になりました。又、高松の37年卒のみんなにも大変世話になりました。広告だけでも、記録的な金額であり、昔からの仲間の熱い友情を感じています。

これらの準備の過程で私達が一致して感じたことは、同級生だけでなく、先輩、後輩の方々も実に気持ちよくご協力下さったことでした。母校の良さを再認識すると共に、それらの方々に、心から感謝しないではおれませんでした。

今年は色々な新しいことを試んでいます。こんな色々なことが果たしてうまくいくのだろうか、との心配は当初からあり、今もあります。

しかしともかくやるだけやってみようと考えました。仮にこの試みが失敗に帰するとしても、来年からは後輩の諸君が色々改良してくれるに違いない、母校の仲間は極めて優秀であり、その優れた人材が本会を更に発展させてくれるに違いないと信じたからです。

「たった2時間半の為にどうしてそんなにやるの」と言われながらも、今年の総会で皆様が「昔の仲間に会い、かわらぬ友情に接し懐しかった」、「新しく素晴らしい仲間を知ることができて良かった」と感じて戴きたいとひたすら祈りつつ準備をしてきました。

もし、出席した方が一つでも心に残ることを感じて戴ければ、一人でも今まで面識のなかった先輩、後輩と知り合うことが出来る端緒となる場を提供できたとすれば、それは幹事全員の喜びであります。

そして、それはこの会に協力戴いた方々にとっても共通の喜びに違いありません。

今回の会が出席者の全員にとってそのような会であります様、祈るばかりです。

最後に、本会が今後も更に発展することを信じるとともに本会にご協力戴いた方々、又出席戴いたみなさんに心から感謝の意を表します。

みなさん、本当にありがとうございました。

37年卒 一同



出逢い
その時の出逢いが
その人の人生を
根底から変えることがある
出逢いが
人間を感動させ
感動が人間を動かす
人間を動かすものは
むかし「理論」や
「理屈」じゃなく
人間を根底から変えてゆくもの
人間を本当に動かしてゆくもの
それは人と人との出逢い
その心での出逢い

栢田みづを

週刊ダイヤモンドから転載

6. 37年卒会員紹介

広いようで狭いのが世の中、案外身近なところに同窓生がいたりするものです。37年卒のメンバーを勤務先の業種別にご紹介します。同じ社内、隣りのビルあるいは取引先にいないでしょうか。

夫の世話、育児、PTA 活動、地域活動、趣味、はたまたパートにと最も忙しい主婦の方々は居住地別に整理してみました。あなたのご近所にいませんか。心当りがあれば是非声を掛けて下さい。

業 種	氏 名	勤 務 先
建 設	谷 口 義 明	大成建設(株)
	高 尾 義 介	フジタ工業
	柴 田 陽 一	日本鉄道建設公団
	田 村 勉	奥村組 北関東支店
	赤 沢 正 幸	東急建設 横浜支店
	化学・石油	荒 木 正 志
	大 野 毅 郎	テクノユニバース (三井東圧化学から出向)
	内 海 弘	大日本インキ化学工業 千葉工場
	二 川 隆	コニシ 浦和研究所
	大久保 邦 夫	紀文フードケミファ 埼玉工場
鉄 鋼	森 皓 一	シェル石油
	宮 本 盛 規	新日本製鉄 人事部
	高 橋 学	住友金属工業 エンジニアリング本部
機 械 機 器	久 米 修 三	ワコールスチール
	竹 内 忠 雄	栗田工業 総合研究所
	豊 島 佐知夫	栗田工業
	森 忠 彦	ミネベア
	松 本 敏 彦	多田野鉄工所 海外営業
	吉 田 浩 滋	ヤマハ発動機
	福 家 泰 矩	富士ダイス

業 種	氏 名	勤 務 先	
機 械 機 器 電 機	小 西 正 輝	キャノン コーポネント開発センター	
	堺 勝 彦	日本電気	
	杉 内 克 巳	日本電気 電波応用事業部 第2水測技術部	
	鳥 飼 勉	日本電気 衛星通信システム本部 国内技術部	
	長 谷 隆 裕	日本電気	
	山 口 哲 夫	松下通信工業 情報システム事業部	
	寺 尾 駿	東芝 財務部	
	松 島 久 朋	日本ビクター	
	後 藤 彰	東京電子工業	
	竹 下 邦 彦	日本たばこ産業	
そ の 他 製 造	中 良 夫	トッパン・ムーア	
	小 堀 勝 彦	日本製紙連合会	
	小 沢 則 夫	伊藤忠商事	
商 業	河 西 俊 一 郎	日整産業	
	喜 多 将	組合貿易	
	香 西 俊 彦	東京トヨペット	
	新 田 征 也	丸光そごう	
	宮 北 明 彦	三井物産	
	宮 代 詔 二	東京産業	
	金 融 ・ 保 険	神 崎 泰 忠	三菱銀行立川支店
		大 西 修	富士銀行
		長 尾 幸 夫	富士銀行 蒲田支店
		花 崎 恭 雄	百十四銀行 新宿支店
小 松 義 照		安田信託銀行	
鎌 田 紘 志		ペイン・ウェバー・インタナショナル	
塹 江 正 志		大東京火災海上保険	
小 国 昭		日本生命 東京契約者奉仕課	
運 輸		田 村 博 文	日本通運
		徳 本 昌 功	東亜国内航空
	岩 瀬 隆 志	朝日新聞 東京本社 出版局	
マ ス コ ミ ・ 出 版	富 水 田 道 臣	エフエム東京	
	安 倍 隆 典	文芸春秋	
	山 下 南 海 士	学研 第3編集局	
	鹿 谷 和 子	日本美術年鑑	

業 種	氏 名	勤 務 先	
電 気 ・ サ ー ビ ス	細 川 明 彦	電源開発 大間原子力調査所	
	玉 木 康 平	東京電力	
	猪 又 清 之	関東電気保安協会労務部	
	池 田 健	オペレッター劇団(灯)	
	関 口 玄 子 (増田)	日本オペラ協会会員	
	中 野 義 子 (松村)	日本交通交社外人旅行部	
	自 営	岡 崎 洋	阿比留・岡崎・大橋法律事務所
		芝 草 克 久	エーブル
		須 永 玲 子 (多田)	須永時計宝飾店
	官 公 庁	藤 村 節 子 (岡)	さぬきうどん高松
森 末 楊 博		大蔵省	
円 藤 寿 穂		運輸省	
熊 敏 彦		法務省 大臣官房秘書課	
官 公 庁		増 田 生 成	警察庁 交通局 高速道路課
		松 本 光	防衛庁 陸上幕僚監部 調査部
		辻 広 治 郎	防衛庁 陸上自衛隊
横 関 捷 二		防衛庁 海上自衛隊 航空集団司令部	
合 田 寛		参議院議員秘書	
医 薬		斉 藤 司 朗	栃木県農務部 普及教育課
	松 岡 博 昭	東大病院 第2内科	
	藤 村 祥 一	慶応大学病院	
	鶴 尾 隆	癌研究会 癌化学療法センター	
	河 野 芳 樹	理化学研究所	
	教 育	川 上 郁 代 (永井)	平井小学校
		田 村 紀 子 (遠山)	小宮小学校
		関 英 城	川崎市立 百合ヶ丘中学校
	渡 辺 史 代 (片山)	八王子市立由木中学校	
	内 野 典 子 (久保)	成徳学園高校	
松 田 伸 子	東京純心女子高校		
近 藤 俊 子 (白石)	越谷北高		

業 種	氏 名	勤 務 先
教 育	市原 綾子 (菖田)	聖徳短期大学
	高松 薫	筑波大学 体育科学系
	大崎 弥枝子	日本歯科大学
	喜岡 俊英	東京理科大学 理工学部

県 名	氏 名	住 所
東 京 都	黒田 節子 (清水)	
	荒井 信子 (中西)	
	円藤 とよ子 (松本)	
	苧坂 泰子 (上田)	
	花崎 志満 (西本)	
	関口 玄子 (増田)	
	河本 トシ子 (乙武)	
	筒井 智子 (岡中)	
	川田 和子 (藤川)	
	藤沢 信恵 (坂東)	
	影山 道子 (湯浅)	
	窪田 敦子 (宇川)	
	埼 玉 県	宮代 公美子 (伊藤)
河野 綾子 (田井)		
並川 悦子 (安部)		
千 葉 県	田中 秀子 (兵頭)	
	本条 比佐子 (栗原)	
	沢村 田鶴子 (中北)	

県 名	氏 名	住 所
千 葉 県	江野窪 文子 (若槻)	
	塚脇 淳子 (信定)	
神 奈 川 県	井上 哲子 (一丸)	
	真鍋 千代子 (岡)	
	神田 千里 (長谷川)	
	佃 恭子 (久保)	
	英 澄子 (香川)	
	上原 貴代子 (大山)	
	尾浦 和子 (松野)	
	河田 靖子 (藤本)	
	鳥居 昌子 (杉上)	
	漆原 澄子 (吉川)	
栃 木 県	広田 史子 (松岡)	

寄贈図書目録

皆様に御協力いただきました母校図書購入資金で下記の図書が、特別コーナーを設けて揃えられております。今年もなにとぞ御協力をお願い致します。

年度	出版社	書名	巻数
S53	河出書房	トルストイ全集	20
53	みすず書房	ウアジニア ウルフ著作集	8
54	講談社	ファミリークック	14
54	岩波書店	地球科学	16
55	文芸春秋社	菊地 寛文学全集	10
55	趣味と生活社	世界への旅	11
56	講談社	世界動物文学全集	28
56	筑摩書房	石川琢木全集	8
57	ライフ社	人間と科学シリーズ	21
58	ほるぷ出版	体育スポーツ科学選書	14
58	ほるぷ出版	日本の詩	25
59	講談社	現代総合科学教育大系	13
60	ほるぷ出版	数学マイウェイ	8
60	ほるぷ出版	英文「日本大百科事典」	9

皆様の御芳志にたいして、心から厚くお礼を申しあげます。御芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、在校生・職員等の閲覧に供しておりますことを御報告いたします。

61年5月8日 高松高校図書館

「赤とんぼ」

- | | | |
|--|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1 夕やけ 小やけの
赤とんぼ
負われて 見たのは
いつの日か | 2 山の 畑の
桑の実を
小籠に つんだは
幻か | 3 夕やけ 小やけの
赤とんぼ
止まって いるよ
竿の先 |
|--|-----------------------------------|---------------------------------------|

「ふるさと」

- | | | |
|--|--|---|
| 1 兎追し かの山
小鮎釣りし かの川
夢は 今も めぐりて
忘れがたき ふるさと | 2 いかにいます 父母
つつがなしや 友垣
雨に 風に つけても
思い出ずる ふるさと | 3 志をはたして
いつの日にか帰らん
山は 青き ふるさと
水は 清き ふるさと |
|--|--|---|

「今日の日は、さようなら」

- | | | |
|---|---|---|
| 1 いつまでも
絶えることなく
友達で いよう
明日の日を 夢みて
希望の道を | 2 空を飛ぶ
鳥のように
自由に 生きる
今日の日は さようなら
また 会う日まで | 3 信じ合う
喜びを
大切に しよう
今日の日は さようなら
また 会う日まで |
|---|---|---|

東京玉翠会会則

第一章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は東京玉翠会という。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡、親睦を図るための会合、行事
- (2) 会報、会員名簿の発行
- (3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

(事 務 局)

第 4 条 本会の事務局を東京都内に置く。

(会則改正)

第 5 条 本会則の改正は幹事会の決議による。

第二章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校（以上五校を母校という）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下通常会員という）ならびに母校の旧職員（以下特別会員という）で東京都及びその周辺に在住する者をもって組織する。

(部会の設置)

第 7 条 1 第 3 条の事業を行うため母校別の部会を置くことができる。
2 部会の運営はその所属会員の協議による。

(会 費)

第 8 条 1 通常会員は年会費を納入しなければならない。

2 年会費の額は、毎年常任幹事会の決議によりこれを定める。

第三章 役 員

(役 員)

第 9 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 4 名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1 名
- (5) 幹 事 その員数は次条第 2 項の定めによる
- (6) 監 事 3 名

(役員の選出)

第 10 条 1 会長及び副会長並びに監事は総会において選出する。
2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各 1～2 名を選出する。
3 常任幹事は会員の中より会長が指名する。
4 常任幹事のうち 1 名を事務局長、1 名を会計担当として会長が指名する。

(任 期)

第 11 条 役員任期は 2 年とし重任を妨げない。但し補欠により就任した役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第 12 条 1 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは会長の職務を代行する。
3 常任幹事は常任幹事会を構成し重要な事項の審議、決定を行う。
4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。
5 監事は本会の会計を監査する。

第四章 会 議

(総 会)

- 第 13 条 1 総会は会長の招集により毎年 1 回開催する。
 なお必要ある場合には臨時総会を開催することができる。
- 2 総会においては、次の行事を行う。
- (1) 会務及び会計報告
 - (2) 会員の親睦を図る行事
 - (3) 本会の運営に必要な事項の決定

(幹事会・常任幹事会)

第 14 条 幹事会、常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

(議 長)

第 15 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議長は会長があたる。

(議 決)

第 16 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

第五章 会 計

(会 計)

第 17 条 本会の会計は年会費及び寄附金その他の収入による。

(会計年度)

第 18 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月末日に終る。

第六章 その 他

(顧 問)

- 第 19 条 1 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。
- 2 顧問は会議に出席し意見を述べることができる。

附 則

第 1 条 本会則は昭和 58 年 6 月 25 日より施行する。

東京玉翠会役員名簿

会 長	平 井 健 吉	(高中 23回)
副 会 長	宮 井 仁之助	(高中 44回)
	松 浦 三知子	(高女 昭和4年)
	多 田 野 久	(高高 昭和25年)
	永 野 精 子	(高高 昭和27年)
常 任 幹 事	寒 川 孝 栄	(高中 34回)
	乾 浩 三	(高中 43回)
	木 下 薫	(高中 44回)
	永 木 英 一	(高中 47回)
	大 西 實	(高中 54回)
	前 田 フ ミ	(高女 昭和8年)
	岡 式 子	(高女 昭和11年)
	東 原 武 子	(高女 昭和13年)
	国 井 福 美 子	(高女 昭和14年)
	和 波 良 子	(高女 昭和20年)
	藤 井 富 弘	(高高 昭和26年)
	久 保 醇 治	(高高 昭和27年)
	井 関 賢 治	(高高 昭和29年)
	近 藤 和 彦	(高高 昭和30年)
官 武 敏 夫	(高高 昭和31年)	
三 宅 貴 子	(高高 昭和33年)	
三 崎 屋 義 正	(高高 昭和34年)	
星 野 正 信	(高高 昭和38年)	
仁 木 壯	(高高 昭和46年)	
岡 正 晶	(高高 昭和49年)	
事 務 局	大 西 昭 一 郎	(高高 昭和33年)
監 事	松 田 和 光	(高中 47回)
	鷹 尾 信 子	(高女 昭和11年)

祝

第4回東京玉翠会総会

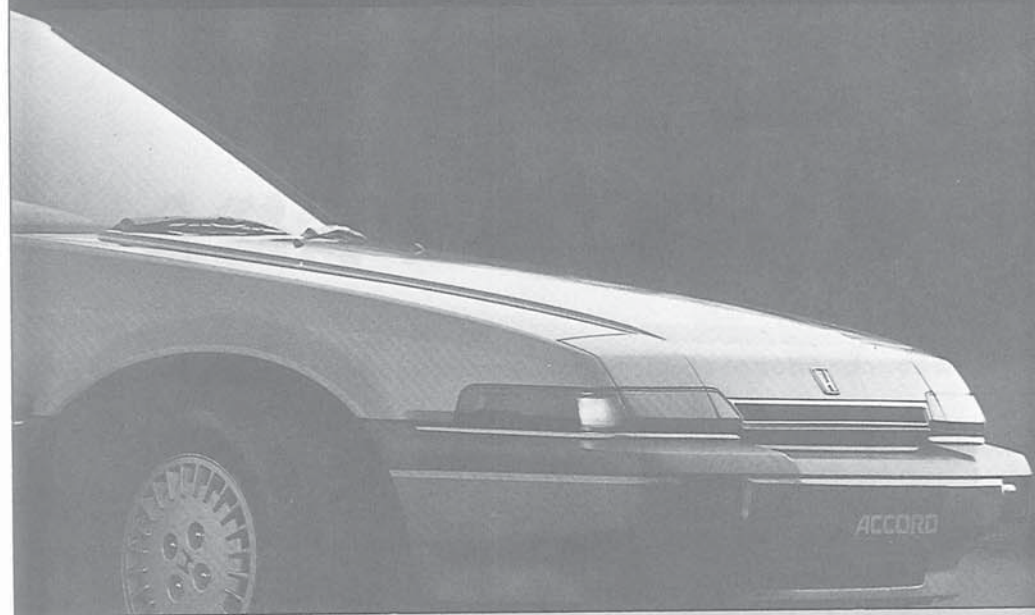
第4回東京玉翠会に
ご協力有難うございました

景品をご寄贈頂いた各企業です。

味の素(株)	東北種苗(株)
綾菊酒造(株)	日本生命保険(相)
大塚製薬(株)	日本通運(株)
花王(株)	日本電気(株)
キャセイ航空(株)	日本ハム(株)
コニシ(株)	平川音響(株)
サントリー(株)	富士通(株)
(株)資生堂	(株)文芸春秋
西武不動産(株)	明治製菓(株)
(株)多田野鉄工所	ヤクルト本社(株)
帝人(株)	ユニ・チャーム(株)
東亜国内航空(株)	高高37年卒高松組一同
東京青果(株)	

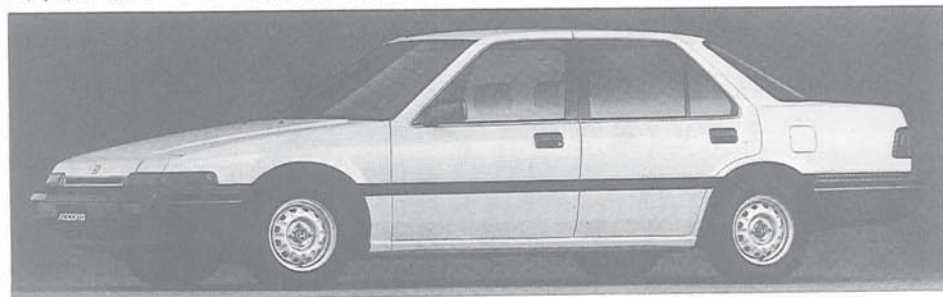
(50音順 敬称省略 6月16日現在)

HONDA  PRIMO



SUPER MOVEMENT

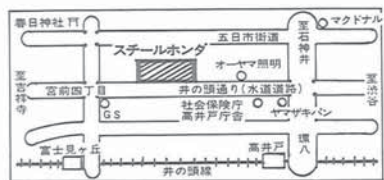
時代を抜きさる New-ACCORD



取扱車種

ACCORD・CIVIC・CITY・TODAY・ACTY

車検・定期点検も是非当店で!!



お客様と心のふれあいを大切にする……

スチールホンダ

東京都杉並区宮前1-16-6(井の頭通り・宮前四丁目交差点そば)
 〒168 TEL.03(331)5500 FAX.03(331)0384
 営業時間/AM9:00~PM8:00日曜、祭日営業 第1、第3火曜日定休

アクタスは「ひたむきな思いやり」を、
 提案します。

手から手へ。
 心から心へ。
 長い歴史の中で培われてきた
 本物のハンドクラフトには
 人へのあたたかい
 思いやりがこめられ
 ています。
 かたちになった情感は、
 国を超え、時代を超えて
 いつまでも新鮮に
 語りつづけます。



ACTUS.

株式会社アクタス
 〈本社〉東京都渋谷区渋谷2-1-13
 TEL.(03)499-0651代
 代表取締役 桐山東一郎

大河への挑戦!

日本ハムは、総合食品企業としての体制を整え、大河への挑戦をつづけます。

古来より、人と暮らしを潤してきた大河。そんな壮大な流れを築こうと、
いま、北海道から沖縄、そして海外を含めて159社の日本ハムグループは、
それぞれの分野で「大河への挑戦」をつづけています。すでに、その体制づくりは着々と進行していますが、
グループ全体が一丸となって、「幸せな食創り」に貢献できるよう、日本ハムはこれからも努力いたします。

ニッポンハム
取締役社長 大社 義規



国産最大120t吊り。

標準ブームと3段ヘビーデューティ・ブームがブームホルダ一部で差しかえられる、タダノ独自の脱着方式を採用した120t吊り、TG-1200M新登場。ブームは業界初の6段油圧伸縮・50mロングブーム。3段ジブ付ブームで、最大地上揚程は76m。10mのエクステンションジブ(オプション)をつける

と86mと超高揚程作業に威力を発揮します。またヘビーデューティ・ブームは、超重量物専用作業に真価を見せます。自由降下装置付の2モータ・2ウインチ。6本支持で全周同一の吊り上げ性能、抜群の安定性。最新鋭AML-U型モーメントリミッタの採用により、オペレータは安全作業が行えるなど、数々の新機構を備えたTG-1200Mは機械式クレーンに代わる超大型荷役のエース、現場のニーズに応えるビッグマシンです。

TADANO 株式会社 多田野鉄工所

営業本部 ● 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル30F
TEL 東京03(435)3611 代表



「グループでマイルドな焼酎」
「ハイブリッドな味わい」
和酒独自の製法で蒸留した高品位の甲類焼酎に、大麥とコーンのスピリッツ、そしてホワイトオークの樽で熟成した原酒をブレンド。ストレートでも、ロックでも、ミックスドリンクでも遊ばせました。

うねって、人になる。

協和発酵

ユニバーサル証券株式会社

専務取締役 石川 精一 (高中51回卒)
取締役人事部長 西本 親吉 (高高29年卒)

〒100 東京都千代田区丸ノ内3-4-2 新日石ビル
☎ 03(284)3511(代表)

創造産業のトッパン・ムーア



トッパン・ムーアは情報システムを
トータル技術で提供します。



刻一刻と、激しく変容する情報化社会において、価値ある情報と技術を的確につかみたい。こんなユーザー・ニーズにお応えするのが総合情報サービス企業のトッパン・ムーアです。コンピュータのフォームウェア、ハードウェア、ソフトウェアを基本コンセプトに情報システムをグローバルにトータル技術で提供し、お得意様の事務合理化、効率化に貢献しております。

営業品目

- ビジネスフォーム ● フォームプロセッサ ● システム・サプライ&アクセサリ ● コンピュータ/システムマシン ● カード/関連機器 ● システムハウス ● コンピュータ運用要員派遣 ● フォームプロセッサ ● コンピュータ教育ソフト ● ビデオテックス画面制作 ● ビデオ制作



トッパン・ムーア

本社 〒101 東京都千代田区神田駿河台1-6 主幹の発ビル ☎03(285)2411
FDC (営業開発センター) 〒163 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル45F ☎03(344)1611
FDC 大 〒541 大阪府東区瓦町5-37-1 住友生命瓦町ビル ☎06(226)1294

Another Private Restaurant in your life.

Restaurant D'artagnan

レストラン ダルタニアン

ヨーロッパの家庭料理の味を目指す店です。

2人で静かに語らいが、

4人で重要な商談が、

20人で楽しくパーティーができる。

そんな落ち着いた、小さい店です。

皆様のプライベートな応接室として御利用下さい。

ワイン・スコッチに合ったオリジナルサラダも
自慢です。

是非一度お試し下さい。

◇ランチタイム 11:00~2:00 コースランチ ¥1,000

◇ディナータイム 5:00~10:00 コースディナー ¥3,500



DT型

ユニホーム

製造発売元

代表取締役 末沢 信夫 (高高27年卒)

専務取締役 堺 淳一 (高高27年卒)

本社	神奈川県座間市立野台305	TEL 0462-51-5159(代)
相武台支店	神奈川県座間市相武台1-81	TEL 0462-55-7493(代)
大和支店	神奈川県大和市下鶴間1742	TEL 0462-76-5647(代)
藤沢支店	神奈川県藤沢市用田南原489-5	
相模原営業所	神奈川県相模原市南台2-3-3	TEL 0427-46-4400
新宿営業所	東京都新宿区諏訪町75	TEL 03-202-7144

営業品目

作業服、事務服、白衣、無塵衣、防寒衣、ジーンズ、カジュアルウェア
安全靴、作業靴、無塵靴、ヘルメット、保安用品、雨衣、長ぐつ、地下タビ
職人用ニッカ、七分、手甲、軍手、軍足、シート、他工場用品全般

南入間病院

南入間病院院長

医学博士 卯坂 道博

(高高39年卒)

〒350-02 埼玉県入間郡鶴ヶ島町大田ヶ谷732

電話 0492 (86) 0550

60-11



60錠, 120錠, 240錠

シオノギの
ビタミン・カルシウム配合保健剤
新ポポンス錠



シオノギ製薬

大阪市東区道修町3-12 〒541

Ⓢ：登録商標

胃痛、胸やけ、飲み過ぎに。



過剰な胃液分泌が胃粘膜のあれやただれの主な原因になります。新サクロンは過剰な胃液を中和し、胃液の出すぎを抑え、緑の成分銅クロロフィリンナトリウムが胃の粘膜を守ります。就寝前や空腹時の服用が効果的です。



包装: 18包、36包

●用法・用量 / 成人1回1包、1日3回、食間又は就寝前の空腹時に服用します。

緑の胃ぐすり
新サクロン

HOTEL NEW KANDA

くつろぎ、都市型。

Phone 03-258-3911



シングル 8,500円・9,500円
 ダブル 12,000円
 ツイン 12,000円・18,000円
 会議室●8名様用 3時間 12,000円
 ●28名様用 3時間 24,000円
 レストラン 和・洋・喫茶

ホテルニュー 神田
 〒101 東京都千代田区神田淡路町2-10
 ※外堀通り 神田郵便局隣り

祝

第4回東京玉翠会総会

高高39会

関東支部一同

祝

第4回東京玉翠会総会

高高47年卒有志一同

心いれあうコミュニケーション広場



出会いさわやか10周年。

四国一高松、ビジネス・観光の拠点
 高松駅から車で5分。高松空港から車で15分。

新宿京王プラザホテルチェーン

京王プラザホテル高松

香川県高松市中央町11番5号 ☎0878(34)5511(代表)

●京王プラザホテル ☎03(344)0111代 ●札幌営業所 ☎011(221)5451
 ●仙台営業所 ☎0222(25)5911 ●名古屋営業所 ☎052(583)4718
 ●大阪営業所 ☎06(345)4885 ●福岡営業所 ☎092(473)0911



国内旅行は トゥースツア= 海外旅行は TOP TOUR

名湯クーポン

旅情たっぷり湯けむりの宿

◎お問い合わせお申し込みは 東急観光 (株)京橋営業所

中央区京橋2-5-21
 TEL 03(561)9501

香川県綾歌郡綾上町山田下三三九三番地の一
 ☎〇八七八一七八一三三三二

綾菊酒造株式会社

寛政二年創業

全国清酒鑑評会
 連続金賞受賞



讃岐の酒米才オセト
 綾川の伏流地下水
 自然の恵みを受けて
 伝統の技が冴える

祝

第4回東京玉翠会総会

卒業50周年記念

高女 昭和11年卒有志一同

センチュリー証券

取締役社長 野崎博通
(高中44回卒)

〒103 東京都中央区日本橋本町2-4
☎ 03-667-0371

岡田輝彦 公認会計士 事務所

所長 岡田輝彦
(高中44回卒)

☎03(263)0856 (代表)

〒102 東京都千代田区麴町1丁目3番地 (麴町1丁目3番地ビル)



日本塩回送株式会社

代表取締役 平井健吉

(高中23回卒)

東京都港区南青山3-18-7 ☎ 03(403)5471 (代表)

工業用ゴム製品・合成樹脂製品

極東産業株式会社

取締役社長 中村文俊

(高中50回卒)

〒105 本社 東京都港区新橋5-10-5 ☎ 03(433)4761(代)

鹿島石油(株)

〒102 東京都千代田区紀尾井町3-6
☎ 03-265-0411

ニーズに応える確かな技術

新潟鉄工

本社 東京都千代田区霞が関1-4-1 〒100 電話(03)504-2111

確かな明日へ
信頼のお手伝い。

百十四銀行

東京支店/東京都中央区日本橋3丁目8-2
☎ (271) 1281
新宿支店/東京都新宿区百人町2丁目1-2
☎ (209) 0114
青山支店/東京都港区北青山3丁目5-12
☎ (478) 0114

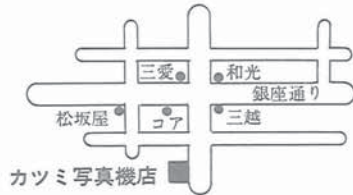


昭和四日市石油株式会社

〒100 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル16F
☎ 03(580)3851

株式会社 カツミ写真機店

〒104 東京都中央区銀座5丁目9番1号
日曜・祭日営業
☎ 03(571)0468(代)



帝国石油株式会社

東京都渋谷区幡ヶ谷1丁目31番10号
電話 (466) 1 2 3 1(代表)

あなたの投資戦略に
ホットな情報を。

ふやす時代のパートナー
日本勧業角丸証券

本店：東京都千代田区丸の内1-6-1 ☎03(286)7111
営業網：全国主要都市70店舗 海外：10拠点

藤井法律事務所

弁護士 藤井 富弘
(高高26年卒)

〒105 東京都港区新橋4-31-7 中村ビル3階
TEL 431-2267
431-2304
FAX 431-2365



電話のたびによみがえる
今日の感動……

フリーデザインテレホンカード制作・販売
HACL 平川音響株式会社
〒160 東京都新宿区西新宿8-5-4 北新成子坂ビル601 ☎(03)371-7641(代表)

英文印刷物の編集・製作を お手伝いいたします!

会社案内、商品説明書、アニュアル・レポート、社史、
ニュース・レター、英文プレス・リリース、国際会議の
ニュース・プレティンなど、各種印刷物の製作。

ジャパン タイムズ 受託事業部

〒108 東京都港区芝浦4丁目5番4号 電話(03)453-5311(内線231)

自動車機器
油圧機器製造
鉄道車輛機器

三輪精機株式会社

〒338 埼玉県与野市中里80番地
☎ 0488-31-6191 (大代表)

自費出版等 印刷のことなら お気軽に声をかけて下さい

—— 自叙伝、社誌等は原稿がなくても本になります ——

当社のスタッフが原稿作成時よりお手伝い

☎ 433-1481

印刷の総合センター 株式会社 三州社

〒105 東京都港区芝大門1-1-21

井関賢治(高高29年卒)
栗田俊彦(")

新日本製鐵株式會社

玉翠会一同

〒100 東京都千代田区大手町二丁目6番3号
☎ 03 (242) 4 1 1 1 (代表)

東高化成株式会社

取締役社長 増田 陽三
(高高26年卒)

本社 東京都中央区京橋2-6-16(エターナルビル)
TEL 03 (563) 6 2 7 1 (代表)
FAX 03 (563) 6 2 7 8 〒104
大阪支店 大阪市東区淡路町2-40-4(弘栄ビル)
TEL 06 (222) 2 8 6 1 (代表)
FAX 06 (222) 2 8 6 3 〒541

"FOUR SEASON 100% リゾート イン"

ふるさと村
白河

関の里

新白河ゴルフ倶楽部

テニス/バック
ふるさと/バック
秋の味覚/バック



ゴルフ/バックも有り
宿泊は別荘で

●貸別荘 130棟 収容 1,000名 ●スポーツ施設 ゴルフ テニス etc.
問い合わせ・お申し込み ☎ 03(274) 3 9 7 1 東京予約センターまで

M-E-C-T

Maximizing Effort and Contribution to Therapeutics

"医療に対する最大限の努力と貢献"をお約束します

取締役企画営業副本部長 大川 明 (高高29年卒)

メクト株式会社
日本メクト株式会社

〒163 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル5F
電話(03)344-5411(代)

CAP キャピトル航空サービス株式会社 CAPITAL TRAVEL SERVICE INC.,

〒100 東京都千代田区永田町2-10-2 TBRビル 1014
☎03(593)1628(代)

森川 伝 (高高35年卒)

出張、留学、招待、割引航空券、まずはお連絡下さい。

- 渡航手続の一切の代行
- 海外旅行の企画、相談及び見積り
- 航空機、船舶、外国内鉄道、ホテルの手配と予約
- 各種パッケージツアーの取扱い
- 旅行傷害保険の取扱い
- 外国人の日本国内旅行斡旋
- 国内航空券の取扱い

OLYMPIC STAFF CO., LTD.

あなたのゴルフ個性に合わせた、あなただけのクラブをお手もとに……

コンピュータとプロのスタッフがあなたのゴルフスイングを診断いたします。なお、日時をご予約の上ご利用ください。

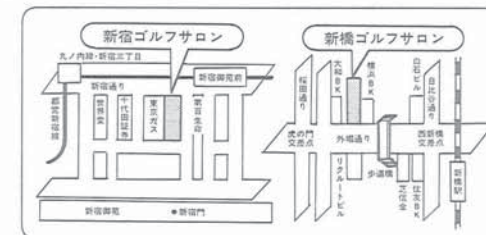
レッスン時間：AM10:00～PM20:00

予約問合せ先

新橋サロン 03-350-8741

新宿営業部 03-350-8041(新橋サロン受付可)

担当 藤原 典雄 (高高35年卒)



新橋ゴルフサロン 〒150東京都港区西新橋1-5-14 信栄堂ビル2F
新宿ゴルフサロン 〒160東京都新宿区新宿2-3-13大橋第一ビル2F

西川紀男法律事務所

弁護士 西川 紀男
(高高34年卒)

事務所 港区赤坂3丁目2番6号 バゴダビルディング6階
☎ (587) 1 8 4 1 (代)

日本鋼管株式会社 特約店

三井石油化学工業株式会社 総代理店
三星産業株式会社

東洋興発株式会社

代表取締役 大熊 伸
(高高34年卒)

○土木資材各種販売、施工 ○不動産業務

〒272 千葉県市川市南八幡4-5-20

☎ 0473 (78) 7 4 5 5 ~ 6

一級建築士事務所

株式会社 シバ設計

所長 柴原 力
一級建築士

(高高34年卒)

事務所 渋谷区道玄坂1-15-3-319

☎ 476-4371 (代)

麴町の一等地。洒落た欧風インテリアの中で、
懐石料理の豊かな味わいをお楽しみ下さい。

●営業時間● 11:30AM~2:00PM
5:30PM~10:00PM
日曜日・祝祭日・休業

地下鉄半蔵門出入口No.4より徒歩1分

〒102 東京都千代田区麴町1-8 ATIビルB1
PHONE: 03-221-0505

山田 勲 (高高32年卒)



矯正歯科

渋谷・道玄坂

山田矯正歯科クリニック

◎歯科 木・日・祝日休診

◎矯正歯科 日曜日でも可

渋谷区道玄坂2-28-4 井門インターナショナル6F

☎464-1166(代)

宮武 医院

宮武 治郎

(高高32年卒)

〒192 八王子片倉町1221-26 ☎ 0426-8317

株式会社 昭和興産

代表取締役 藤本 烈

(高高30年卒)

〒107 東京都港区赤坂6-6-28

TEL (586) 2856

フジカナ工産業(株)

代表取締役 矢野 裕

(高高30年卒)

〒107 港区赤坂6-6-28

☎ 03-586-2856

近藤和彦会計事務所

税理士

近藤 和彦

(高高30年卒)

〒110 台東区上野5-15-12 原ビル4F

☎ 03-835-0025

池田歯科医院

院長 池田 弘一

(高高32年卒)

高松市寿町2-4-20 千代田生命ビル3F

TEL 0878-21-4664

日本マンパワーは、
人材開発の専門機関です。

事業案内

- ◎CDS関連各種事業
- ◎通信教育事業
- ◎人材紹介事業
- ◎ビジネススクール
- ◎各種テスト事業
- ◎企業内教育企画事業

人材開発とキャリアプランのマンパワー

取締役社長 小野 憲
(高高25年卒)

日本マンパワー

〒107 東京都港区赤坂4-8-14 ☎03-470-3111
本社 東京 支社 関西・中部・九州・札幌・広島

瀬戸内海放送

KSB

代表取締役社長 加藤 芳宏

(高高29年卒)

本社・スタジオ 〒760 高松市西宝町1丁目5番20号
☎高松(0878)62-1111(代表)
岡山総局・東京支社・大阪支社・倉敷支社

お気軽にお立寄り下さい

スナック

KIEN'S

東京都港区赤坂2-10-5(小松製作所裏)
☎(03)583-1038

オガワ歯科医院

小川 淳

(高高29年卒)

小田急読売ランド駅前
川崎市多摩区西生田3-7-22
TEL 044-955-0558

ふるさと 讃岐の味
手打うどん
うどんすき
季節の料理

金比羅

(七宝産業株式会社)

浜松町店 東京都港区浜松町3-1
TEL 03-432-1047
西船橋店 西武百貨店船橋店内
豪州店 オーストラリア ケアンズ
パラダイスホテル内
姉妹店 山梨県都留市大幡舟井沢3036
中央都営カントリー倶楽部内
TEL 05544-5-1261

クラス会、各種会合、ご家族連れでお気軽に御利用下さい。
ご予算に応じます。
お座敷は20名様位迄ご利用いただけます。

日本橋店 東京都中央区八重洲一丁目三番八号
電話(二七四)三三〇番(代表)
京橋店 東京都中央区京橋二丁目十一番一
電話(五六七)五八五〇番
銀座店 東京都中央区銀座四丁目九番五号
電話(五四二)〇八六一番(代表)
東京都港区芝五丁目三十三番七号
電話(四五四)四六二二番
静岡市東田中宇便船場
電話(四五〇)一七三七番
御殿場店 電話(四五〇)三三三番

讃岐茶屋

手打うどんと季節料理の店

眼鏡IOPティックオグラ。

OPTIC OGURA

- 大丸東京店(7F) 03(212)8011
- 大丸町田店(10F) 0427(25)1111
- 渋谷店(宮下公園前) 03(499)2156
- 新宿店(マイシティ5F) 03(352)6531
- 市ヶ谷店(靖国通り) 03(264)5178
- 日本橋店(水天宮前) 03(667)7071
- 立川店(ウィル5F) 0425(27)8079
- 八王子店(北口駅前) 0426(46)5515
- 横浜西口店(ジョイナス) 045(321)6871
- 横浜東口店(ポルタ) 045(453)6501
- 藤沢店(コスト6F) 0466(26)2877
- 高崎店(ビビ高崎3F) 0273(23)8629
- 静岡店(伊勢丹7F) 0542(53)1813

目にやさしい。

シードコンタクト



コンタクトレンズについての
ご相談は、

☎813-1111

市原音楽教室

市原 綾子 (高高37年卒)

〒121 東京都足立区中央本町4-16-2-513
TEL 852-1366

関口音楽教室

関口 玄子 (高高37年卒)

〒176 東京都練馬区早宮3-52-2
TEL 993-1547

前田勇税務会計事務所

税理士 前田 勇 (高高38年卒)

事務所 〒102 東京都千代田区九段北4丁目1番5号
市ヶ谷法曹ビル807号
電話 03(265)9471番(代)
自宅 〒191 東京都日野市平山2丁目14番地6
電話 0425(92)7760番

やきとり

鳥 仲

中野 京子 (旧姓 渡辺)
(高高38年卒)

中央区日本橋茅場町3-2-3
邦山堂ビル
TEL 03-661-8748

祝 第4回東京玉翠会

本の専門店 鎌倉目耕堂

末沢 和子 (高高27年卒)

電話 (0467)-23-0331

吉川整形外科病院

院長 吉川 定雄

(高中53回卒)

〒231 栃木県宇都宮市泉ヶ丘1-15-21

濱田法律事務所

濱田 清 (高高32年卒)

〒102 千代田区平河町1の8の2
山京半蔵門パレスビル604
TEL 03-221-6261

<p>清潔で、美しく、すこやかな毎日をめざして。</p>  <p>花王株式会社 〒103 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10 ☎03(660)7211</p>	<p>未来を刷る! FINE ART PRINT BY INOUE</p> <p>井上 栄 (高高33年卒)</p> <p>INOUE 井上美術印刷株式会社 〒116 東京都荒川区町屋1-4-9 TEL 03(819)0821 工場/足立</p>
<p>時計、宝石、貴金属 修理、加工、リフォーム</p> <p>スナガ時計宝飾店</p> <p>須永 玲子 (旧姓多田) (高高37年卒)</p> <p>〒168 東京都杉並区和泉2-33-19 TEL 03-323-5295</p>	<p>シール・ラベル } 製造販売 各種メンバーズカード }</p> <p>株式会社 ハヤシ</p> <p>代表取締役 林 征一郎 (高高33年卒)</p> <p>〒104 東京都中央区八丁堀2-1-10 林ビル ☎ (03)553-1811</p>
<p>大西 昭一郎法律事務所</p> <p>弁護士 大西 昭一郎 (高高33年卒)</p> <p>千代田区丸の内3-1-1 国際ビル727区 ☎ 03-212-0841 (代表)</p>	<p>足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所</p> <p>弁護士 宮武 敏夫 (高高31年卒)</p> <p>〒100 千代田区大手町2-3-6 タイム・ライフビル ☎ (270) 7461</p>
<p>税理士 山口修事務所</p> <p>税理士 山口 修 (高高33年卒)</p> <p>事務所 東京都北区赤羽1-37-13 城北ハイツ205 ☎ (903) 4111</p>	<p>植 松 武 彦 (高高31年卒)</p> <p>帝人株式会社 ☎ 03(506)4520</p>

<p>スナック アイビー</p> <p>渡 辺 浩 (高高31年卒)</p> <p>豊島区東池袋1-41-14 ☎ (983) 2720</p>	<p>珪素産業株式会社</p> <p>取締役社長 宗本 徳禪 (高中37回卒)</p> <p>東京都杉並区成田西1-17-8 ☎ 03(313)6505</p>
<p>株式会社 サンキ</p> <p>前 谷 亮 三 (高高30年卒)</p> <p>東京都千代田区神田須田町1-8 (川田ビル) TEL 03(252)2451</p>	<p>— 旅行のご用命は —</p>  <p>海外旅行企画株式会社 TRAVEL PLAN INTERNATIONAL (運輸大臣登録一般旅行業第44号)</p> <p>〒107 東京都港区赤坂4丁目9番25号 新東洋赤坂ビル 電 話 03(403)8111 (代表) 代表取締役 高坂 篤 (高中51回卒)</p>
<p>医薬品・医療用品総合販社</p> <p>東鳴株式会社</p> <p>専務取締役 工藤 政尚 (高高27年卒)</p> <p>東京都足立区千住旭町7番25号 電話 東京03(879)代表2211 〒120</p>	<p>小倉・田中法律事務所</p> <p>弁護士 小倉 良弘 (高高39年卒)</p> <p>事務所 〒160 東京都新宿区四谷2丁目2番地 四谷フジビル3階 電 話 03-355-2268(代) F A X 03-355-2308</p>
<p>山本亮一特許事務所 (高中37回卒)</p> <p>内外国・特許・商標・審判・鑑定</p> <p>〒103 東京都中央区日本橋本町4-9(永井ビル)</p> <p>☎ 03(270)0858-9 TELEX: 02226632 SANPATJ</p>	<p>小中高校生のための 家庭学習教材</p> <p>株式会社 エーブル</p> <p>代表取締役 芝草 克久 (高高37年卒)</p> <p>〒330 埼玉県大宮市宮町3-1 大泉ビル ☎ 0486-44-5172</p>

祝

第4回東京玉翠会総会

- 小川和彦 (香川相互銀行)
川崎英治 (百十四銀行)
北岡保之 (高松市役所)
岡本実 (浜田屋電機商会)
三村州右 (三井物産高松支店)
倉山幸治 (香川県立丸亀病院)
古市健 (香川県立観音寺土木事務所)
山崎敏範 (香川大学)
玉井克俊 (日本アルミ高松営業所)
佐々木健二郎 (香川県市町村共済組合)
杉野洋子 (紫雲中学校)
山下武春 (安藤建設高松営業所)
鈴木随子
(高松)
岡本房子 (岡本銃砲店)
(池見)
櫛橋清子 (利光工芸)
真田カナエ (高松海産)
(谷本)
阿部正博 (東京海上火災保険(株)鹿屋支社)

(高高37年卒)

よみがえるパイプ

超真空式パイプライニング工法

空気調和・衛生設備・設計・施工

 後藤設備工業株式会社

本社/香川県高松市香西東町645-1
支店/愛媛県松山市三番町7丁目4-3 ☎(0899)31-7837

専務取締役 後藤伸雄 (高高37年卒)

医療法人 栄光会 内科・放射線科

ルカ病院

院長 小川 篁
副院長 小川 純
小川 翼 (高高37年卒)

高松市番町2丁目12-5・工芸高校西

株式会社 平田呉服店

平田 廣

店舗 高松市丸亀町7-8 〒760 電話 (0878) 51-3200 (代表)

自宅 高松市番町3丁目18-18 電話 (0878) 31-3922

医療法人財団博仁会 キナシ大林病院

高松市鬼無町 TEL 81-3631

大林信子 (高女8年卒) 大林紀久子 (高高33年卒)
大林誠一 (高高28年卒) 三宅加代子 (高高37年卒)
大林弘子 (高高30年卒) 鬼無信 (高高43年卒)
谷本邦彦 (高高32年卒)

耳鼻咽喉科

藤沢病院

藤沢 圭 (高高37年卒)
藤沢 孝子 (高女昭和6年卒)

〒760 高松市観光通1丁目3の5
TEL (代) 61-3387番

アールエヌシーパワ 株式会社

高松市天神前9-1 ☎0878-61-4921(代)

平井 宏一 (高高30年卒) 角 至弘 (高高37年卒)
渡辺 澄雄 (高高30年卒) 石原 邦彦 (高高37年卒)
平井 延幸 (高高37年卒)

泉鋼業株式会社

取締役社長 富家 靖輔 (高高37年卒)

本社 〒780 高松市朝日町5丁目2番3号
TEL 0878-22-1181

東京営業所 〒104 東京都中央区八丁堀3丁目25番8号
TEL 03-553-5521

革新という名の幻想に惑わされて既に15年、あなたのかげがえのない「ふるさと」は今、どんどん貧乏しています。
このままでは玉藩城の廢墟にたずんで荒城の月に涙を流すことになるかも知れません。私はたとえ人柱となっても、高松を建て直し栄光を守りたいのです。



高松に新しい風を……

おお た ひ で あ き
太田英章

後援会 高松市中野町30-20
TEL 0878-31-1900

慧匠社 建築研究所

- 住宅 住生活施設
- 病院 医療・福祉施設
- 学校 教育・厚生施設
- 店舗 商業・業務施設

福家 克彦 (高高37年卒)
宮下 章 (高高51年卒)

本社 TEL (06)764-7217・7218
四国事務所 TEL (0878)22-7097

山内石油株式会社 山内石油商事株式会社

本社 〒760 高松市栗林町1丁目9番1号
☎ 34-3232(代)

山内 康生
(高高37年卒)

URBAN HOUSE INTERIOR COODINATOR SHOP

奈良崎 稔 (高高37年卒)
〒760 高松市今新町7-12
☎0878-22-3471

株式会社 喜多猿八商店

喜多 克幸
喜多 俊雄 (高高34年卒)
高松市松島町1-7-17

雑誌・新聞・情報処理
電算写植

成光社

代表取締役 稲毛 邦浩 (高高37年卒)
〒761 高松市郷東町5-11
電話 (0878) 82-1476(代)

巡拝の部 白衣・軸・納経帳製造卸
旗幕の部 緞帳・各種旗・メダル
染色の部 寺社用染物・宣伝用風呂敷・手拭
熨斗の部 結納熨斗・各種掛軸表装

つる屋旗店

関口 俊彦
〒760 高松市兵庫町1-9(三越南角西入ル)
TEL (0878) 51-3548(代表)
夜間 61-5358

株式会社 イシハラ

石原 弘毅
(高高37年卒)

坂出市西庄町99-4
TEL 0877-46-3503

株式会社 ミツブ

代表取締役 十河 健介 (高高37年卒)
高松市扇町1丁目24-35 ☎22-7590

川添税理士事務所 川添興産

川添 正道
(高高37年卒)
高松市花ノ宮町3丁目4-15
TEL 0878-65-9777

丸一林産有限会社

代表取締役 玉置 正 (高高37年卒)
高松市上天神町128 電話 (0878)67-1313(代)

株式会社 **フジコー**

代表取締役 幡 多 茂 樹
(高高37年卒)

本 社 〒763 丸亀市川西町南甲284番地2
T E L 丸亀(0877)28-6111番(代)
パナファックス(0877)28-6114(専用)
高知営業所 高知県吾川郡伊野町字神原崎6489-9
T E L (0888) 93-2707
パナファックス (0888) 93-2743



まなべ光広

(高高33年卒)

高松市番町1丁目10番1号
TEL(0878)61-8866

松尾建築設計事務所

松 尾 武
(高高37年卒)

〒760 高松市番町2-10-4番町第2ビル
TEL (0878) 22-1119

有限会社ライフアシスト
カワナベ薬品

高松市川部町488番地3
〒761 TEL (0878) 85-0366

宮 野 明 子
(高高37年卒)

名産魚せんべい本舗

株式会社 **味海屋**

専務取締役 木 澤 久 誼
(高高37年卒)

営業所 高松市瀬戸内町30-73
T E L (0878) 61-9523

工業薬品 合成樹脂 試薬 理化学用機器

増田薬品株式会社

増 田 明 義 (高高37年卒)

〒760 高松市錦町1丁目13番21号(NHK前)
電 話 (0878) 51-0631(代表)

スコッチハウス
チェックイン
SCOTCH HOUSE

CHECK IN 小 林 陽 子
(高高43年卒)

高松市瓦町2丁目2番地9 ビルド マンハッタン3F
PHONE 35-1076

株式会社 **東海総合保険企画**

玉 越 浩 達 (高高35年卒)
久 保 武 士 (高高37年卒)

高松市東ハゼ町894-3
TEL 0878-65-8533

出雲大社高松分祠

副長 大 須 賀 誠 (高高37年卒)

高松市室新町1138
TEL 67-4404

浄化槽の
維持管理は

高松市東ハゼ町894-3
株環境保全センター
TEL (0878) 67-6166~



代表取締役 曾 我 部 高 志
(高高37年卒)

Murasaki
TOKYO NEW YORK · PARIS · MILANO

色が香りになった 紫のあでやかさ



世界で匂いたつ 日本の優雅

資生堂むらさき

- パルファム……10,000円 ● オードパルファム……3,000円
- オードパルファム(ビュアミスト)……3,500円

Feel the Beat

もっと楽しく 感じるままに—技術の日産



NEWパルサー新発売



PHOTO: 3DOOR HATCHBACK MILANO X1 TWINCAM / サウンドセレクション・フルカラスポーツ



MILANO X1 TWINCAM
 ENGINE; CA16DE TWINCAM 16 VALVE
 DISPLACEMENT; 1598cc
 COMPRESSION RATIO; 10.0 to 1
 MAX. POWER; 120PS/6400rpm(Net)
 MAX. TORQUE; 14.0kgm/5200rpm
 FUEL SYSTEM; NISSAN ECCS

TWIN-CAM EUROPE

「ネット」はエンジンを車再搭載とはほぼ同じ状態で測定したものです。「グロス」はエンジン単体で測定したものです。

振りむくとヨーロッパが見つめていた。メカニズムは進化すればするほど美しくなる。クルマだって感性を大切にするとスタイリッシュになっていく。いま僕たちは、このフォルムとパワーに気持を熱くしてしまう。

- ◎クオリティ・ソリッド・フォルムに本物の存在感がある。流体面のエアロボディが誰よりもスタイリッシュ。
- ◎欧州仕様のヨーロピアンシート(X1系)をはじめ、乗る人を優しく包むラウンディッシュ・インテリアが人間的。
- ◎全域レスポンスが楽しい新開発ツインカム16バルブ。足は、しなやかヨーロッパチューンサスペンション。
- ◎楽しいことは徹底的。例えば前後に150°回転するJBLリヤラウンドスピーカーなども搭載(ミラノX1ツインカムサウンドセレクション)。
- ◎4ドアサルーンにフルタイム4WD登場。ビスカス・カップリングで前後輪のトルク配分を自動コントロール。



5000R HATCHBACK

1500 J1(アルミロードホイールは注文装備)



4000R SALOON

1500 FULL AUTO FULL TIME 4WD J1(アルミロードホイールは注文装備)

日本初 **FULL AUTO FULL TIME 4WD** 同時登場 **NISSAN NEW PULSAR**



シートベルトは安全ベルト正しく使う習慣を。